

沖繩

五二、五五〇

臺灣

五三、二〇〇

以上ノ内百圓乃至五百圓ノ義捐者四十四名十六團體ニシテ千圓以上ノ義捐者ヲ  
特記スレハ左ノ如シ

金二萬圓

日

本

銀

行

同

三

井

家

同

男爵 岩崎 時崎 久之助 助

金一萬圓

住

友吉右衛門

同

藤

田傳三郎

同

日

本鐵道株式會社

同

日

本郵船株式會社

金五千八百五圓十七錢

時

事新報社取扱

金五千圓

日

本興業銀行

同

篠

一鐵行

同

渡

邊治右衛門

同

日

本勸業銀行

同

第

十

銀

行

同

東

洋汽船株式會社

同

古

河鑛業會社

同

大

倉喜八郎

同

安

田善次郎

金三千圓

高

田慎藏

同

北

海道炭鑛鐵道株式會社

金二千圓

川

崎金三郎

同

中

井新右門

金千圓

男爵

松尾臣善

同

東

京瓦斯株式會社

同

東

京株式取引所

同

東

海銀行

同

男爵

澁澤榮一

同

原

富太郎

同 同 同

平 沼 專 藏  
茂 木 保 平  
静岡縣茶業組合聯合會議所

新聞社ノ厚意  
義捐金ニ對ス  
ル米國民ノ意  
向

各地新聞ハ概ネ無料又ハ割引ヲ以テ義捐者姓名金額ノ廣告ヲ承諾セラレ日本國  
民ノ米國ニ對スル同情ハ幸ニ彼國民ニ徹底シタリ初メ大統領ハ他國ノ救助ハ悉  
ク之ヲ受ケサルヘキヲ布告セラレタルヲ以テ我送金モ或ハ之ヲ受領スヘキヤ否  
疑問ナリシモ同國赤十字社長タル陸軍卿タフトハ曩ニ本邦ニ來遊ノ際具ニ國情  
ヲ視察スル所アリ一方東北地方凶作救濟金募集中ナルニ拘ラス更ニ又此舉アル  
ハ全ク熱誠ナル友情ニ出ツルモノナリトシテ之ヲ拒絕スル能ハス遂ニ之ヲ受領  
スルコト、ナリシモノナリ在桑港上野領事ノ外務大臣ニ對スル報告ノ一節ニ曰  
ク我政府ヨリ赤十字社病院船派遣ノ申込アリ尋テ我至尊ヨリ多分ノ金員ヲ當  
國一般救濟費ノ内へ御寄贈方仰出サル又我一般國民ヨリモ同様寄附金ノ申出ア  
リタルニ對シ當國一般人ハ帝國ノ好意ニ向テ深ク感謝ノ意ヲ表シ殊ニ戰後經營  
東北地方飢饉救濟等我財界ニ於テ各種不利益ノ事情存在セルニ拘ラス他ニ率先  
シテ如上援助ノ申出アリタル事實ハ當國一般ノ特ニ記憶セサル可ラサルモノト

在桑港領事ノ  
報告

小澤副社長ノ  
大統領謁見及  
大統領ノ挨拶

セリト六月一日米國赤十字社カ本社ノ慈仁ナル友誼的行爲ニ對スル深厚ノ謝意  
ヲ本社及本社ヲ經テ我國民へ表彰シ度旨同國務卿ノ訓電ニ基キ在本邦同國大  
使ヨリ外務大臣ヲ經テ本社ニ傳達セラレ其外送金受領毎ニ懇篤ナル謝意ヲ表セ  
ラレタリ翌明治四十年小澤副社長英國往航ノ途次米國ニ立寄り五月廿三日「ホワ  
イトハウス」ニ於テ大統領ニ謁見ノ際昨年我桑港ノ震災ニ方リ日本赤十字社ハ巨  
額ノ寄附金ヲ國民ヨリ募集シ以テ米國罹災者ニ寄セラレタリ時ニ貴國ハ大戰役  
ノ後未タ幾干モナラス且東北地方ノ飢饉ニ遭遇シ之カ救濟ノ急ナルモノアリ旁  
々貴國民ノ負擔輕カラサル際ニモ拘ラス遠ク我罹災者ノ上ニマテモ及ホサレタ  
ル貴國民ノ義侠心ハ余竝ニ米國民ノ心底ニ深ク印象セラレタリ該寄附金ニ依リ  
罹災者ノ被リタル救護ノ効果ハ極テ顯著ニシテ茲ニ親ク米國ヲ代表シ感謝ヲ表  
スト是レ大統領ノ挨拶ナリ  
此ノ如ク我國民ノ美譽能ク彼國民ヲ感動セシムルヲ得タルハ本社ノ光榮ニシテ  
各義捐者一般ニ對シテ永ク本社ノ謝意ヲ表スル所ナリ

日本赤十字社史稿終

日本赤十字社史稿附錄

(一) 赤十字關係諸條約

○戰地軍隊ニ於ケル傷者及病者ノ狀態改善ニ關スル條約(赤十字條約)

千八百六十四年八月二十二日 瑞西國ツエネ1ツニ於テ締結  
明治十九年六月五日加蓋同年十一月十五日勅令公布

治療所ノ保護

第一條 戰地假病院及陸軍病院ハ局外中立ト見做シ患者若クハ負傷者ノ該病院

ニ在院ノ間ハ交戰者之ヲ保護シテ侵スコト勿ルヘシ

但戰地假病院及陸軍病院ハ兵力ヲ以テ之ヲ守ル時ハ其局外中立タルノ資格

ヲ失フモノトス

救護員ノ保護

第二條 戰地假病院及陸軍病院ニ於テ任用スル人員即チ監督員醫員事務員負傷

者運搬員並ニ説教者ハ各其本務ニ從事シ且ツ負傷者ノ入院スヘク若クハ救助

スヘキ者アル間ハ局外中立ノ利益ヲ享有スルモノトス

衛生員ノ進退

第三條 前條ニ掲ケタル各員ノ從事スル戰地假病院若クハ陸軍病院ハ敵軍ノ占

領ニ係ルト雖モ各員ハ依然其本務ヲ行フコトヲ得ヘク若クハ其屬スル隊ニ再

附錄 赤十字關係諸條約

ヒ加ハル爲メ退去スルコトヲ得ヘシ  
前項ノ場合ニ於テ各員其職ヲ罷ル時ハ占領軍隊ヨリ敵軍ノ前哨ニ之ヲ送致ス  
ヘシ

治療具ノ保護

第四條 陸軍病院ノ器具什物等ハ交戰條規ニ從テ處置スヘキモノナリ故ニ該病  
院附屬ノ各員ハ其退去ノ際各自ノ私有品ヲ除クノ外爾餘ノ物品ヲ携帶スルコ  
トヲ得ス

戰地住民ノ盡

但戰地假病院ハ前項ノ場合ニ於テモ其器具什物等ヲ保有スルコトヲ得  
第五條 負傷者ヲ救助スル土地ノ住民ハ侵スコトヲ得ス且ツ之ヲシテ其自由ヲ  
得セシメサルヘカラス  
交戰國ノ將官ハ住民ニ慈善ノ舉ヲ慫慂シ且ツ慈善ノ舉ニ依テ局外中立タルノ  
資格ヲ有スルコトヲ得ヘキ旨ヲ豫告スルヲ責アルモノトス  
家屋内ニ負傷者ヲ接受シ之ヲ看護スル時ハ其家屋ヲ侵スコトヲ得ス又自己ノ  
家屋ニ負傷者ヲ接受スル者ハ戰時課税ノ一部ヲ免カレ且ツ其家屋ヲ軍隊ノ宿  
舎ニ供用スルコトヲ免カルヘシ

傷病者ノ保護

第六條 負傷シ又ハ疾病ニ罹リタル軍人ハ何國ノ屬籍タルヲ論セス之ヲ接受シ

看護スヘシ

司令長官ハ軍團中ニ負傷シタル兵士ヲ速ニ敵軍ノ前哨ニ送致スルコトヲ得  
但右ハ其時ノ狀勢ニ於テ之ヲ送致スルコトヲ得ヘク且ツ兩軍ノ協議ヲ經タ  
ル場合ニ限ルモノトス  
治療後兵役ニ堪ヘスト認メタル者ハ其本國ニ送還スヘシ  
又其他ノ者ト雖モ戰爭中再ヒ兵器ヲ帶ヒサル旨盟約シタル者ハ其本國ニ送還  
スヘシ  
患者負傷者退去スル時ハ其之ヲ率フル人員ト共ニ完全ナル局外中立ノ取扱ヲ  
受クヘシ

赤十字  
用法

第七條 陸軍病院戰地假病院並ニ患者負傷者退去ノ標章トシテ特定一様ノ旗章  
ヲ用ヒ且ツ其傍ニ必ズ國旗ヲ掲クヘシ  
局外中立タル人員ノ爲ニ臂章ヲ裝附スルコトヲ許ス  
但其交付方ハ陸軍官衙ニ於テ之ヲ司トルヘシ  
旗及臂章ハ白地ニ赤十字形ヲ畫ケルモノタルヘシ  
第八條 此條約ノ實施ニ關スル細目ハ交戰軍ノ司令長官ニ於テ其本國政府ノ訓

赤十字條約ノ  
實施

赤十字條約ノ  
加蓋

令ニ從ヒ且ツ此條約ニ明示シタル綱領ニ準據シテ之ヲ規定スルシ

第九條 此締盟各國ハシテシエネーグ會議ニ全權委員ヲ派遣セザリシ政府ニ此條約

赤十字條約ノ  
批准

ヲ示シ其加盟ヲ請フコトヲ約諾セリ因テ之カ爲メ議事録中餘白ヲ存ス

第十條 此條約ハ批准ヲ受クヘキモノトス而シテ其批准書ハ「ベルヌ」ニ於テ四月

以內若クハ可成ハ其以前ニ交換スヘシ

○陸戰ノ法規慣例ニ關スル條約

千八百九十九年七月二十九日和蘭國海牙ニ於テ締結  
明治三十三年十一月二十一日勅令公布

第一條 締盟國ハ各其ノ陸軍ニ對シ本條約附屬ノ陸戰ノ法規慣例ニ關スル規則  
ニ遵依スル所ノ訓令ヲ發スヘシ

第二條 締盟國中ノ二國又ハ數國ノ間ニ戰ヲ開キタル場合ニ限リ締盟國ハ第一  
條ニ掲ケタル規則ノ規定ヲ遵守スルノ義務アル者トス

右規定ヲ遵守スルノ義務ハ締盟國間ノ戰鬪ニ於テ一ノ非締盟國カ交戰國ノ一  
方ニ加ハリタル時ヨリ消滅スルモノトス

第三條 本條約ハ成ルヘク速ニ批准スヘシ  
批准書ハ海牙ニ保管ス

各批准書ニ付一通ノ保管證書ヲ作り其ノ認證謄本ヲ外交上ノ手續ニ依リ各締  
盟國ニ交付スヘシ

第四條 非記名國ハ本條約ニ加盟スルコトヲ得ヘシ  
非記名國カ其ノ加盟ヲ締盟國ニ通知スルニハ書面ヲ以テ和蘭國政府ニ通告シ

同國政府ヨリ更ニ之ヲ爾餘ノ締盟國ニ通知スヘシ

第五條 若締盟國中ノ一國ニ於テ本條約ヲ廢棄スルトキハ書面ヲ以テ其ノ旨ヲ  
和蘭國政府ニ通告シタル後一箇年ヲ經過スルニ非サレハ廢棄ノ效力ヲ生スル

コトナシ右通告ハ和蘭國政府ヨリ直ニ爾餘ノ締盟國ニ通告ス  
右廢棄ノ效力ハ之ヲ通告シタル國ノミニ止ルモノトス

條約附屬書 陸戰ノ法規慣例ニ關スル規則

第一款 交戰者

第一章 交戰者ノ資格

第一條 戰鬪ノ法規及權利義務ハ獨リ之ヲ軍ニ適要スルノミナラス左記ノ條件  
ヲ具備スル所ノ民兵及義勇兵團ニモ亦之ヲ適用ス

第一 部下ノ爲ニ責任ヲ負フ者其ノ頭ニアルコト

第二 遠方ヨリ看別シ得ヘキ固著徽章ヲ有スルコト

第三 公然武器ヲ携帯スルコト

第四 其ノ動作ニ於テ戦闘ノ法規慣例ヲ遵守スルコト

民兵又ハ義勇兵團ヲ以テ軍ノ全部又ハ一部ヲ組織スル國ニ於テハ之ヲ軍ノ名  
自中ニ包含ス

第二條 未ダ占領セラレサル地方ノ人民ニシテ敵ノ接近スルニ方リ第一條ニ遵  
テ編成スルノ違ナク自然武器ヲ操リテ侵入軍隊ニ抗敵スル者ニシテ戦闘ノ法  
規慣例ヲ遵守スル者ハ交戦者ト看做スヘシ

第三條 交戦國ノ兵力ハ戦闘員及非戦闘員ヲ以テ之ヲ編成スルコトヲ得敵ニ捕  
獲セラレタル場合ニハ二者均ク俘虜ノ取扱ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第二章 俘虜

第四條 俘虜ハ敵國政府ノ權内ニ屬シ之ヲ捕獲シタル個人又ハ軍團ノ權内ニ屬  
スルコトナシ  
俘虜ハ博愛ノ心ヲ以テ取扱フヘキモノトス

兵器馬匹及軍用書類ヲ除キ凡ソ俘虜ノ一身ニ屬スルモノハ依然其ノ所有タル  
ヘシ

第五條 俘虜ハ之ヲ市邑城寨陣營其ノ他ノ場所ニ留置シ一定ノ境界以外ニ出テ  
テサル義務ヲ負ハシムルコトヲ得ヘシ但シ已ムヲ得サル保安手段ニ出ツル場合  
ノ外之ヲ幽閉スルコトヲ得ス

第六條 國家ハ俘虜ヲ其ノ階級及技能ニ應シテ勞務者トシテ使役スルコトヲ得  
但シ其ノ勞務ハ過度ナルヘカラス又一切作戰動作ニ關係ヲ有スヘカラス  
俘虜ハ公衛一個人又ハ自己ノ爲ニ勞務スルコトヲ許可セラル、コトアルヘシ  
國家ノ爲ニスル勞務ハ内國陸軍々人ヲ同一勞務ニ使役スル場合ニ適用スルト  
同一ノ割合ニテ賃銀ヲ支給スヘシ  
他ノ公衛又ハ一個人ノ爲ニスル勞務ニ關シテハ陸軍官衛ト協議ノ上條件ヲ定  
ムヘシ

俘虜ノ賃銀ハ其ノ境遇ノ艱苦ヲ輕減スルノ用ニ供シ剩餘ハ其ノ解放ノ時之ヲ  
交付ス但シ其ノ中ヨリ給養ノ費用ヲ控除スヘシ

第七條 政府ハ其ノ權内ニ在ル俘虜ヲ給養スヘキ義務アリ交戦國間ニ特別ノ協

定キキ場合ニハ食料寝具及被服ニ關シ俘虜ハ之ヲ捕獲シタル政府ノ軍隊ト對  
等ヲ取扱ヲ受クヘシ

第八條 俘虜ハ之ヲ權内ニ屬セシメタル國ノ陸軍現行法律規則及命令ニ服從ス  
ルシ

總テ不従順ノ行爲アルトキハ俘虜ニ對シテ必要ナル嚴重手段ヲ施スコトヲ得  
逃走シタル俘虜ニ對シテ其ノ軍ニ達スル前又ハ之ヲ捕獲シタル軍ノ占領セル地  
方ニ離ルル前ニ再々捕ヘラレタル者ハ懲罰ニ付セラルヘシ俘虜逃走ヲ遂ケタ  
ル後再々俘虜ト爲リタル者ハ前ノ逃走ニ對シテハ何等罰ヲ受クルコトナシ  
第九條 其俘虜其ノ氏名及階級ニ付訊問ヲ受ケタルトキハ實ヲ以テ答フヘキモノ  
トス若シテ其ノ實ヲ知ラズ同種ノ俘虜ニ相應スル利益ヲ減殺セラルルコトアルヘ  
シ

第十條 俘虜其ノ本國ノ法律外之ヲ許ストキハ宣誓ノ後解放セラルルコトヲ  
得ルシ此ノ場合ニ於テ本國政府並之ヲ捕獲シタル國ノ政府ニ對シ一身ノ名譽  
ヲ賭シテ誓約ヲ嚴密ニ履行スルノ義務ヲ有ス  
前項ノ場合ニ於テ俘虜ノ本國政府ハ之ニ對シ其ノ宣誓ニ違反スル勤務ヲ命ジ

又ハ之ニ服セムトノ申出ヲ受諾スヘカラサルモノトス

第十一條 俘虜ヲ強迫シテ宣誓解放ヲ受ケシムルコトヲ得ス又敵國政府ハ必ス  
シキ宣誓解放ヲ得シトスル俘虜ノ請願ニ應スルノ義務ナシ

第十二條 宣誓解放ヲ受ケタル俘虜ニシテ其ノ名譽ヲ賭シテ誓約ヲ爲シタル政  
府又ハ其ノ政府ノ同盟國ニ對シテ兵器ヲ操リ再々捕ヘラレタル者ハ俘虜ノ取  
扱ヲ受クルノ權利ヲ失ヒ軍法會議ニ付セラルルコトアルヘシ

第十三條 新聞通信員又探訪者酒保用達人等ノ如キ直接ニ軍ノ一部ヲ爲サ、ル  
從軍者ニシテ敵ノ權内ニ陥ル所ト爲リ敵ニ於テ之ヲ抑留スルヲ有益ナリト認  
ムルトキハ其ノ所屬陸軍官衙ノ證認狀ヲ携帶スル者ニ限り俘虜ノ取扱ヲ受ク  
ルノ權利ヲ有ス

第十四條 戦闘開始ノ時ヨリ各交戰國及場合ニヨリテハ交戰者ヲ版圖内ニ收容  
スル中立國ニモ俘虜情報局ヲ設置ス該局ハ俘虜ニ關スル一切ノ問合ニ答フルノ  
任務ヲ有シ各俘虜ニ關スル銘々票ヲ作ル爲各當該官衙ヨリ總テ必要ナル通報ヲ  
受領ス俘虜ノ留置移動入院並死亡ニ關スル現況ハ該局ヲシテ之ヲ知悉セシム  
情報局ハ尙戰場ニ於テ發見セラレ又ハ病院若クハ繙帶所ニ於テ死亡セシ俘虜

ノ遺シタル一切ノ自用品有價證券書狀等ヲ收集シテ之ヲ其ノ關係者ニ傳送スルコトヲ擔任ス

第十五條 慈善行爲ノ媒介者タル目的ヲ以テ其ノ國ノ法律ニ從ヒ正當ニ組織セラレタル俘虜救恤協會及其ノ正當ノ委任ヲ受ケタル代理者ハ其ノ博愛ナル業務ヲ有效ニ遂行セムカ爲軍事上ノ必要及行政上ノ規則ニ依リテ定メタル範圍内ニ於テ交戰國ヨリ一切ノ便宜ヲ受クルコトヲ得ヘシ右協會派出員ハ陸軍官衙ヨリ當人へ交付シタル免許狀ニ據リ且該官衙ノ定メタル一切ノ秩序及風紀維持ニ關スル法則ニ服從スヘキ旨書面ヲ以テ約スルトキハ俘虜ノ留置所及其ノ送還途中ノ休泊所ニ於テ救恤品ヲ分配スルコトヲ許サルヘシ

第十六條 情報局ハ郵稅免除ノ特典ヲ享有スルソ俘虜ニ宛テ又ハ俘虜ヨリ發送スル書狀郵便爲替有價物並小包郵便物ハ發受ノ兩國並通過國ニ於テ總テ郵稅ヲ免除セラルヘシ

俘虜ニ宛テタル贈與及救恤ノ現品ハ輸入稅其ノ他ノ諸稅及國有鐵道ノ運賃ヲ免除セラルヘシ

第十七條 俘虜將校ハ本國ノ規則ニ其ノ規定アルトキハ俘虜ノ地位ニ在リテ給

與セラルヘキ給料ヲ受クルコトヲ得但シ右ハ其ノ本國政府ヨリ償還スヘキモノトス

第十八條 俘虜ハ陸軍官衙ノ定メタル秩序及風紀維持ニ關スル法則ニ服從スルノ範圍内ニ於テ宗教ヲ遵行スルノ自由ヲ許サレ且其ノ宗門ノ禮拜式ニモ亦參與スルコトヲ許サルヘシ

第十九條 俘虜ノ遺言書ハ内國陸軍々人ト同一ノ條件ヲ以テ之ヲ收領シ又ハ調製ス

俘虜ノ死亡證書及埋葬ニ關シテモ亦同一ノ規則ニ遵ヒ且其ノ身分階級ニ相當シタル取扱ヲ爲スヘシ

第二十條 和約締結ノ上ハ成ルヘク速ニ俘虜ヲ其ノ本國ニ送還スヘシ

### 第三章 病者及傷者

第二十一條 病者及傷者ノ取扱ニ關スル交戰者ノ義務ハ千八百六十四年八月二十二日「ジュネヴ」條約及將來之ニ加フルコトアルヘキ修正ニ據ル

## 第二款 戰 闘

### 第一章 害敵手段攻圍及砲擊



第二十二條 交戦者ハ害敵手段ノ選擇上無限ノ權利ヲ有スルコトナシ

第二十三條 特別ノ條約ヲ以テ定メタル禁止ノ外特ニ禁止スルモノ左ノ如シ

(イ) 毒又ハ毒ヲ施シタル兵器ヲ使用スルコト

(ロ) 敵ノ國民又ハ軍ニ屬スル者ヲ欺罔シ行爲ヲ以テ殺傷スルコト

(ハ) 兵器ヲ捨テ又ハ自衛ノ手段盡キテ降ヲ乞ヘル敵兵ヲ殺傷スルコト

(ニ) 助命セザルノ宣告ヲ爲スコト

(ホ) 無益ノ苦痛ヲ與フヘキ兵器彈丸其ノ他ノ物質ヲ使用スルコト

(ヘ) 濫ニ軍使旗及國旗其ノ他軍用ノ標章並敵兵ノ制服及シニネグテ條約ノ徽

章ヲ使用スルコト

(ト) 戰爭ノ必要上萬已ムヲ得ザルノ外敵ノ財産ヲ破壊シ又ハ押收スルコト

第二十四條 奇計並敵情地形探知ノ爲必要ナル手段ノ行使ハ適法ト看做ス

第二十五條 防守セザル市府町村村落居宅又ハ建物ヲ攻撃又ハ砲撃スルヲ禁ス

第二十六條 攻撃軍隊ノ指揮官ハ強襲ノ場合ノ外砲撃ヲ始ムル前ニ其ノ旨ヲ官

廳ニ通告スル爲凡ソ其ノ權内ニ屬スル總テノ手段ヲ盡スヘキモノトス

第二十七條 攻圍及砲撃ニ於テハ宗教技藝學術及慈善ノ爲設ケラレタル建物病

院並病者傷者ノ收容所ハ其ノ現ニ軍事上ノ目的ニ供セラレザルニ於テハ成ル

ベク之ニ害ヲ加ヘザル爲必要ノ手段ヲ施スヘシ

被圍者ハ其ノ攻圍者ニ通知シタル看易キ特別ノ徽章ヲ以テ此等ノ建物又ハ收

容所ヲ表示スルノ義務アリ

第二十八條 突撃ヲ以テ攻拔シタル市府又ハ其ノ他ノ地域ト雖掠奪ヲ行フコト

ヲ禁ス

第三章 間 諜

第二十九條 一方ノ交戦者ニ通知スルノ意思ヲ以テ他ノ一方ノ作戰地帯内ニ於

テ隱密ニ行動シ又ハ虛妄ノ口實ヲ構ヘテ各種ノ情報ヲ收集シ若クハ收集セム

トスル者ノ外之ヲ間諜ト看做スコトヲ得ス故ニ假扮セザル軍人ニシテ情報ヲ

收集セムカ爲敵軍ノ作戰地帯内ニ進入シタル者ハ之ヲ間諜ト看做サヌ又軍人

タルト否トヲ問ハス自國ノ軍又ハ敵國ノ軍ニ宛テタル信書ヲ傳達スルノ任務

ヲ公然執行スル者モ亦之ヲ間諜ト看做サヌ信書ヲ傳達スル爲及總テ一軍又ハ

一地方ノ各都間ノ聯絡ヲ通スル爲輕氣球ニテ派遣セラレタル者モ均ク此ノ部

類ニ屬スルモノトス

第三十條 現行中捕ヘラレタル間牒ハ先ツ裁判ニ付シタル上ニ非サレハ之ヲ罰スルコトヲ得ス

第三十一條 一旦所屬軍ニ復歸シタル後ニ至リ敵ノ爲ニ捕ヘラレタル間牒ハ俘虜トシテ取扱ハルヘク其ノ前ノ間牒行爲ニ對シテハ何等ノ責ヲ負フコトナシ

第三章 軍使

第三十二條 交戦者ノ一方ノ命ヲ帶ヒ他ノ一方ト談判ヲ開ク爲白旗ヲ掲ケテ來ル者ハ之ヲ軍使トス軍使並之ニ隨從スルコトアルヘキ喇叭手鼓手旗手及通譯者ハ不可侵權ヲ有ス

第三十三條 軍使ヲ差向ケラレタル軍隊ノ司令官ハ必スシモ之ヲ受クルノ義務ナキモノトス

司令官ハ軍使カ其使命ヲ利用シテ軍情ヲ探知スルヲ防クニ必要ナル一切ノ手段ヲ施スコトヲ得

司令官ハ軍使カ其ノ特權ヲ濫用シタル場合ニハ一時之ヲ抑留スルノ權利ヲ有ス

第三十四條 軍使特權ヲ利用シテ欺罔ノ行爲ヲ爲シ又ハ之ヲ教唆シタルノ證據

分明掩フヘカラサルトキハ其ノ不可侵權ヲ失フ

第四章 降伏規約

第三十五條 雙方ノ間ニ協定スル降伏規約ニハ軍人ノ名譽ニ關スル慣例ヲ參酌

スヘキモノトス

降伏規約確定ノ上ハ雙方ニ於テ嚴密ニ之ヲ遵守スヘキモノトス

第五章 休戰

第三十六條 休戰ハ交戦者雙方ノ合意ヲ以テ作戰動作ヲ中止ス若其ノ期限ノ定

メナキトキハ交戦者ハ何時ニテモ再ヒ之ヲ開始スルコトヲ得但シ休戰ノ條件

ニ遵依シ約定ノ時期ニ於テ其ノ旨ヲ敵ニ通告スヘキモノトス

第三十七條 休戰ハ全部ニ亘リ又ハ一局部ニ限ルコトヲ得其ノ全部ニ亘ルモノ

ハ普ク交戦國間ノ作戰動作ヲ中止シ其ノ一局部ニ限ルモノハ單ニ特定ノ地域

内ニ於テ交戦軍ノ或ル一局部間ニ之ヲ中止スルモノトス

第三十八條 休戰ハ時機ヲ失ハス之ヲ關係官衙及軍隊ニ公然通告スヘシ通告ノ

後即時ニ又ハ約定ノ時期ニ至リ戰鬪ヲ中止ス

第三十九條 戰地ニ於テ交戦者ト人民トノ間及交戦者相互間ニ爲シ得ヘキ交通

六規約者ニ於テ休戰規約ノ條項ヲ以テ規定スル者トス  
第四十條 休戰規約者ノ一方ニ於テ容易ナラサル規約違反アルトキハ他ノ一方  
ハ規約廢棄ノ權利アルノミナラス緊急ノ場合ニ於テハ直ニ戰鬪ヲ開始スルコ  
トヲ得

第四十一條 一個人カ自己ノ發意ヲ以テ休戰規約ノ條款ニ違反シタルトキハ唯  
其ノ違反者ノ處罰ヲ要求シ若損害ヲ受ケタルトキハ其ノ賠償ヲ要求スルノ權  
利ヲ生スルニ止ルベシ

第三款 敵國ノ版圖内ニ於ケル軍衙ノ權力

第四十二條 一地方ニシテ事實上敵軍ノ權力内ニ歸シタルトキハ之ヲ占領セラ  
レタルモノトシ看做ス

占領者右權力ノ成立シテ且行使セラルベキ地域ヲ以テ限トス  
第四十三條 正當ノ權力事實上占領者ノ手ニ移リタル以上ハ占領者ハ萬己ムヲ  
得サル場合ノ外占領地ノ現行法律ヲ尊重シテ成ルヘク公ノ秩序及衆庶ノ生活  
ヲ回復保障スルノ目的ヲ以テ其ノ權内ニ屬スル總テノ手段ヲ施スヘシ

第四十四條 占領地ノ人民ヲ強迫シテ其ノ本國ニ敵對スヘキ作戰動作ニ加ハラ

シムルコトヲ禁ス

第四十五條

占領地ノ人民ヲ強迫シテ其敵國ニ臣從ノ誓ヲ爲サシムルコトヲ禁  
ス

第四十六條 家族ノ名譽及權利個人ノ生命及私有ノ財産並宗教ノ信仰及其ノ遵  
行ハ之ヲ尊重セサルヘカラス  
私有財産ハ之ヲ沒收スルコトヲ得ス

第四十七條 掠奪ハ之ヲ嚴禁ス

第四十八條 占領者若占領地内ニ於テ從來國家ノ爲ニ設ケタル租稅賦課金及通  
行稅ヲ徵收スルトキハ成ルヘク現行ノ賦課規則ニ依テ之ヲ徵收スヘシ此ノ場  
合ニ於テハ占領者ハ占領地行政ノ費用ヲ支辨スルコト一ニ正當政府カ支辨セ  
シ所ト同様ノ程度ニ於テスルノ義務アルモノトス

第四十九條 占領者若占領地ニ於テ前條ニ掲ケタル租稅ノ外他ノ取立金ヲ命ス  
ル場合ニハ軍又ハ占領地行政上ノ需要ニ應スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス

第五十條 人民ニ對シ其ノ聯帶ノ責アリト認ムヘカラサル一個人ノ行爲ノ爲金  
錢其ノ他ノ連座罰ヲ科スヘカラス

第五十一條 凡以取立金ハ高級司令官ノ責任ノ下ニ命令書ヲ以テスルノ外之ヲ徵收スルコトヲ得ス

右取立金ハ成ルヘク現行ノ租稅賦課規則ニ據ルニ非サレハ之ヲ徵收スヘカラ  
凡以取立金ニ對シテハ其ノ納付者ニ領收證ヲ交付スヘシ

第五十二條 現品ノ徵發及課役ハ占領軍需要ヲ爲ニスルニ非サレハ市町村又ハ住民ニ對シテ之ヲ要求スルコトヲ得ス徵發ハ其ノ地方之資力ニ相應シ且人民ヲシテ其ノ本國ニ敵對スル作戰動作ニ與ルノ義務ヲ負ハシメサル性質ノモノタルコトヲ要ス  
右徵發及課役ハ占領シタル一局地ニ於ケル司令官ノ許可アルニ非レハ之ヲ要求スルコトヲ得ス  
現品ノ供給成ルヘク即金ニテ之ヲ支拂フヘク否ラサレハ領收證ヲ與ヘテ之ヲ證明スヘシ

第五十三條 一地方ヲ占領シタル軍ハ本來國有ニ屬スル現金基金有價證券兵器廠輸送材料倉庫糧秣其ノ他總テ作戰動作ニ供スルコトヲ得ヘキ國有動産ノ外

之ヲ押收スルコトヲ得ス

鐵道材料陸上電信電話海上法ノ規定外ニ在ル汽船其ノ他ノ船舶兵器廠其ノ他一切ノ軍需品ハ會社若ハ個人ニ屬スルモノタリトモ均ク作戰動作ニ供スヘキ性質ヲ有スルモノニ屬ス然レトモ平和回復ノ際ニハ之ヲ返還シ及之カ補償ヲ爲スヘキモノトス

第五十四條 中立國ヨリ來レル鐵道材料ハ該國ノ國有タルト會社又ハ個人ノ所有タルトヲ問ハス成ルヘク速ニ之ヲ還送スヘシ

第五十五條 占領者タル國ハ敵國ノ國有ニ屬シ其ノ占領地内ニ存在スル公有ノ建物不動産森林及農作地ノ管理者タリ且其ノ用益權者タルニ過キサルモノト心得此等財産ノ基本ヲ保護シ用益權ノ規則ニ依リテ之ヲ管理セサルヘカラス  
第五十六條 市町村ノ財産並宗教慈善教育技藝及學術ノ爲設ケラレタル營造物所屬ノ財産ハ國有ニ屬スルモノト雖私有財産同様之ヲ取扱フヘシ  
總テ這般ノ營造物歷史上ノ紀念建造物技藝及學術上ノ製作品ヲ故意ニ押收シ破壊シ又ハ毀損スルコトヲ禁ス犯ス者ハ之ヲ訴追スヘキモノトス

第四款 中立國內ニ留置スル交戰者及救護スル傷者

第五十七條 交戦軍ニ屬スル軍隊ヲ其ノ版圖内ニ收容シタル中立國ハ成ルヘク之ヲ戰場ヨリ遠隔シタル地ニ留置スヘシ

中立國ハ此等軍隊ヲ陣營内ニ監守シ又ハ城塞若シテ之カ爲ニ設備シタル場所ニ幽閉スルコトヲ得ヘシ將校ヲシテ許可ナクシテ中立國ノ版圖以外ニ出テサル旨ヲ宣誓セシメ以テ解放スルト否トハ中立國ノ決スル所トス

第五十八條 特別ノ條約ナキトキハ中立國ハ其ノ留置シタル人員ニ食料被服ヲ給與シ人情ニ訴ヘテ必要ト認ムル救助ヲ與フヘシ

留置ノ爲ニ生シタル費用ハ平和回復ノ上償却セラルヘシ

第五十九條 中立國ハ交戦軍ニ屬スル傷者及病者カ其ノ版圖内ヲ通過スルヲ許スコトヲ得ヘシ但シ之ヲ輸送スル列車ニハ戰鬪ノ人員及材料ヲ搭載セサルヲ條件トスヘシ斯ノ如キ場合ニ於テハ中立國ハ之カ爲ニ必要ナル保安及監督ノ處置ヲ施スヘキモノトス

前記ノ條件ニ依リテ甲交戦國カ乙交戦國ニ屬スル傷者及病者ヲ中立國ノ版圖内ニ伴ヒ來ルトキハ中立國ハ之ヲ監守シテ再ヒ作戰動作ニ與ルコト能ハサラシムヘシ甲交戦國ヨリ依頼ヲ受ケタル傷者及病者ニ對シテモ亦同一ノ義務ヲ

有スヘシ

第六十條 「ジエネヅア」條約ハ中立國ノ版圖内ニ留置シタル病者及傷者ニモ亦之ヲ適用ス

○千八百六十四年八月二十二日「ジエネヅア」條約ノ原則ヲ海戰ニ應用スル條約

千八百九十九年七月二十九日和蘭國海牙ニ於テ締結  
明治三十三年十一月二十一日勅令公布

第一條 軍用病院船即チ傷者病者及難船者ヲ救護スル唯一ノ目的ヲ以テ政府ニ於テ製造シ又ハ設備スル船舶ニシテ戰鬪開始ノ際又ハ交戦中其ノ之ヲ使用スルニ先チ船名ヲ交戦國ニ通告セラレタルモノハ交戦中之ヲ尊重スヘク捕獲スルヲ得サルモノトス

前項ノ船舶ハ中立港内ニ碇泊スルコトニ關シテモ亦軍艦ト同一視セラル、コトナシ

第二條 一個人又ハ公認セラレタル救恤協會ノ費用ヲ以テ全部又ハ一部分ヲ犧裝シタル病院船ニシテ其ノ所屬交戦國ヨリ之ニ官ノ命令ヲ付シ且戰鬪開始ノ際又ハ交戦中其ノ之ヲ使用スルニ先チ船名ヲ敵國ニ通告セラレタルモノハ亦均ク尊重セラレ捕獲ヲ免ル、モノトス

前項ノ船舶ハ其ノ艦裝中及最後出發ノ際當該官廳ニ於テ監督シタルコトヲ證明スル文書ヲ携帯スヘシ

第三條 中立國ノ一個人又ハ公認セラレタル協會ノ費用ヲ以テ全部又ハ一部分ヲ艦裝シタル病院船ニシテ若シ其ノ所屬中立國ヨリ之ニ官ノ命令ヲ付シ且戰鬪開始ノ際又ハ交戰中其ノ之ヲ使用スルニ先チ船名ヲ交戰國ニ通告セラレタルモノハ尊重セラレ捕獲ヲ免ル、モノトス

第四條 第一條第二條及第三條ニ掲ケタル船舶ハ交戰國ノ傷者病者及難船者ヲ其ノ國籍ノ如何ニ關セス救護扶助スヘシ

各國政府ハ右船舶ヲ何等軍事上ノ目的ニ使用セサルコトヲ約定ス  
右船舶ハ決シテ戰鬪者ノ運動ヲ妨碍スヘカラス  
右船舶ハ戰鬪中ト戰鬪後トヲ問ハス自ラ其ノ危險ノ責ニ任シテ行動スルモノトス

交戰國ハ右船舶ニ對シ監督及臨檢搜索ヲ爲スノ權利ヲ有シ助力ヲ拒絕シ其ノ離隔ヲ命令シ其ノ航行スヘキ方向ヲ示命シ且其ノ船中ニ監督員ヲ乗込マシメ、若重大ナル場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ之ヲ抑留スルコトヲ得ヘシ

交戰國ハ病院船ニ下シタル命令ヲ成ルヘク該船ノ航泊日誌ニ記入スヘシ

第五條 軍用病院船ハ其ノ外部ヲ白色ニ塗り幅約一メートル半ノ綠色ノ横筋ヲ施シテ之ヲ標識スヘシ

第三條及第三條ニ掲ケタル船舶ハ外部ヲ白色ニ塗り幅約一メートル半ノ赤色ノ横筋ヲ施シテ之ヲ標識スヘシ  
救護用ニ供セラルヘキ小船類及前二項ノ船舶ニ附屬スル端舟ハ各前三項ニ準ジテ塗色シ以テ之ヲ標識スヘシ

病院船ハ總テ其ノ國旗ト共ニジエネヴア條約ニ定メタル白地ニ赤十字ノ旗ヲ掲ケテ之ヲ標識スヘシ

第六條 中立國ノ商船遊船又ハ端舟ニシテ交戰國ノ傷者病者若ハ難船者ヲ搭載シ若ハ收容スルモノハ此ノ輸送ノ事實ノ爲ニ捕獲セラル、コトナシ然レトモ中立違犯ノ所爲アルトキハ捕獲ヲ免レサルモノトス

第七條 總テ捕獲セラレタル艦船内ニ在リテ教法醫療及看護ニ従事スル人員ハ侵スヘカラサルモノニシテ俘虜ト爲スコトヲ得ス此等ノ人員其ノ艦船ヲ退去スルトキハ各自ノ私有ニ屬スル物品及外科用具ヲ携帯ス

此等ノ人員ハ必要アル限ハ引續キ其ノ職務ニ從事スベク首席指揮官ニ於テ妨  
チシト認ムル時ニ至リ退去スルコトヲ得  
交戰國ハ其ノ權内ニ陥リタル此等ノ人員ニ其ノ給料ノ全額ヲ得セシムルコト  
ヲ要ス

第八條 凡ソ艦船内ニ在ル海陸軍人ノ傷者病者ハ其ノ何レノ國籍ニ屬スルニ論  
ナク捕獲者ニ於テ之ヲ保護介抱スヘシ

第九條 交戰國ノ一方ノ難船者傷者又ハ病者ニシテ他ノ一方ノ權内ニ陥リタル  
者ハ俘虜タルヘク其ノ事情ノ如何ニ依リ或ハ之ヲ抑留シ或ハ之ヲ自國ノ一港  
又ハ中立國ノ一港ニ送致シ或ハ之ヲ其ノ敵國ノ一港ニ送還スルトモ一ニ後者  
ノ決スル所ニ從ス右最終ノ場合ニ於テ其ノ本國ニ送還セラレタル俘虜ハ交戰  
中再ビ服役スルコトヲ得ス

第十條 (削除)

第十一條 締盟國中ノ二國又ハ數國ノ間ニ戰ヲ開キタル場合ニ限リ締盟國ハ前  
記各條ニ掲ケタル規定ヲ遵守スルノ義務アルモノトス  
右規定ヲ遵守スルノ義務ハ締盟國間ノ戰闘ニ於テ一ノ非締盟國カ交戰國ノ一

方ニ加ハリタル時ヨリ消滅スルモノトス

第十三條 本條約ハ成ルヘク速ニ批准スヘシ

批准書ハ海牙ニ保管ス

各批准書ニ付キ一通ハ保管證書ヲ作り其ノ認證原本ヲ外交上ノ手續ニ依リ各  
締盟國ニ交付スヘシ

第十三條 千八百六十四年八月二十二日「ジネヱヅ」條約ヲ承認シタル非記名國  
ハ本條約ニ加盟スルコトヲ得ヘシ

右非記名國カ其ノ加盟ヲ締盟國ニ通知スルニハ書面ヲ以テ和蘭國政府ニ通告

シ同國政府ヨリ更ニ之ヲ爾餘ノ締盟國ニ通知スヘシ

第十四條 若締盟國中ノ一國ニ於テ本條約ヲ廢棄スルトキハ書面ヲ以テ其ノ旨

ヲ和蘭國政府ニ通告シタル後一箇年ヲ經過スルニ非サレハ廢棄ノ效力ヲ生ス  
ルコトナシ右通告ハ和蘭國政府ヨリ直ニ爾餘ノ締盟國ニ通知ス

右廢棄ノ效力ハ之ヲ通告シタル國ノミニ止ルモノトス

○病院船ニ關スル條約

千九百零四年十二月三十一日和蘭國海牙ニ於テ締結  
明治四十四年五月二十三日條約第一號公布

附錄 赤十字關係諸條約

第一條 千八百六十四年八月二十二日「ジエネヴァ條約」ノ原則ヲ海戰ニ應用スル  
爲千八百九十九年七月二十九日海牙ニ於テ締結セラレタル條約第一條第二條  
及第三條ニ掲ケタル條件ヲ具備セル病院船ハ戰時ニ於テハ締盟國ノ諸港ニ於  
テ該國國家ノ利益ノ爲船舶ニ課セラル、各種ノ租稅及賦課金ヲ免除セラルヘ  
シ

第二條 前條ノ規程ハ臨檢其ノ他ノ手續ニ依リ右諸港ニ於テ現ニ行ハル、稅法  
若ハ其ノ他ノ法律ヲ適用スルヲ妨ケサルモノトス

第三條 締盟國中ノ二國又ハ數國ノ間ニ戰ヲ開キタル場合ニ限リ締盟國ハ第一  
條ニ掲ケタル規定ヲ遵守スルノ義務アルモノトス

右規定ヲ遵守スルノ義務ハ締盟國間ノ戰鬪ニ於テ一ノ非締盟國カ交戰國ノ一  
方ニ加ハリタル時ヨリ消滅スルモノトス

第四條 本條約ハ本日ヨリ附ヲ付シ加盟ヲ希望スル諸國ニ於テ千九百五年十月  
一日マテ之ニ記名スルコトヲ得ルモノトス本條約ハ成ルヘク速ニ批准セラル  
ヘシ

批准書ハ海牙ニ保管シ各批准書ニ付キ一通ノ保管證書ヲ作り批准書ノ寄托ア

リタル毎ニ其ノ認證謄本ヲ外交上ノ手續ニ依リ各締盟國ニ交付スヘシ

第五條 非記名國ハ千九百五年十月一日以降本條約ニ加盟スルコトヲ得ヘシ

非記名國カ其ノ加盟國ニ通知スルニハ書面ヲ以テ和蘭國政府ニ通告シ同國政  
府ヨリ更ニ爾餘ノ締盟國ニ通知スヘシ

第六條 若締盟國中ノ一國ニ於テ本條約ヲ廢棄スルトキハ書面ヲ以テ其ノ旨ヲ  
和蘭國政府ニ通告シタル後チ一箇年ヲ經過スルニ非サレハ廢棄ノ效力ヲ生ス  
ルコトナシ

右通告ハ和蘭國政府ヨリ直ニ爾餘ノ締盟國ニ通知ス右廢棄ノ效力ハ之ヲ通告  
シタル國ノミニ止ルモノトス

右證據トシテ各全權委員ハ本條約ニ記名調印スルモノナリ

○戰地軍隊ニ於ケル傷者及病者ノ狀態改善ニ關スル條約(改正赤十字條約)

千九百零六年七月六日瑞西國「ジエネヴァ」ニ於テ締結  
明治四十年末迄ハ批准未済

第一章 傷者及病者

第一條 軍人及公務上軍隊ニ附屬スル其ノ他ノ人員ニシテ負傷シ又ハ疾病ニ罹  
リタル者ハ國籍ノ如何ヲ問ハス之ヲ其ノ權内ニ收容シタル交戰者ニ於テ尊重



看護スヘキモノトス

但シ病者及負傷者ヲ敵ニ遺棄スルノ已ムヲ得サルニ至リタル交戦者ハ軍事上ノ狀況ノ許ス限リ其ノ看護ヲ幫助セシムカ爲衛生部員及衛生材料ノ一部ヲ病者傷者ト共ニ遺留スヘシ

第二條 交戦者一方ノ傷者又ハ病者ニシテ他ノ交戦者ノ權内ニ陥リタル者ハ前條ニ依リテ看護ヲ享クルノ外俘虜ト爲リ俘虜ニ關スル國際公法ノ一般規則ニ適用セラル、モノトス

但シ交戦者ハ俘虜タル傷者病者ニ關シ有益ト認ムヘキ特例又ハ殊遇ノ條項ヲ相互ニ協定スルノ自由ヲ有シ殊ニ左ノ事項ニ付協定ヲ爲スノ權能ヲ有ス

一 戦闘後戰場ニ遺棄セラレタル傷者ヲ互ニ引渡スコト

一 交戦者カ俘虜トシテ抑留シ置クヲ欲セザル傷者ヲ輸送ニ堪フルニ至リタル後又ハ全治後其ノ本國ニ送還スルコト

一 中立國ノ承諾ヲ得タル上戰爭ノ終了迄留置スル條件ヲ以テ對戰國ノ傷者又ハ病者ヲ同中立國ニ引渡スコト

第三條 各戦闘後戰場ノ占領者ハ傷者ヲ搜索シ且掠奪及虐待ニ對シ傷者及死者

ヲ保護スルノ措置ヲ執ルヘシ

右占領者ハ死者ノ埋葬又ハ火葬カ其死體ヲ綿密ニ検査シタル上ニテ行ハル、コトニ注意スヘシ

第四條 各交戦者ハ死者ニ付發見シタル軍隊ノ認識標又ハ身分ヲ證明スヘキ記號及集收シタル傷者又ハ病者ノ人名簿ヲ成ルヘク速ニ其ノ本國官憲又ハ所屬陸軍官憲ニ送付スヘシ

交戦者ハ互ニ其ノ權内ニ在ル傷者及病者ヲ留置移動並入院及死亡ニ關スルコトヲ知照スヘク又戰場ニ於テ發見セラレ或ハ衛生上ノ固定營造物及移動機關内ニテ死亡シタル傷者又ハ病者ノ遺留ニ係ル一切ノ私用品有價物書狀等ヲ利害關係者ニ其ノ所屬國官憲ヲシテ傳送セシムル爲集收スヘシ

第五條 陸軍官憲ハ住民ノ慈惠心ニ訴ヘ之ニ應シタル者ニハ特別ノ保護及一定ノ特典ヲ與ヘ其ノ監督ノ下ニ兩軍ノ傷者病者ヲ收容看護セシムルコトヲ得ヘシ

第二章 衛生上ノ移動機關及固定營造物

第六條 衛生ノ移動機關(即チ戰地軍隊ニ隨伴スヘキモノ)及衛生勤務ノ固定營造

物ハ兩交戦者ニ於テ之ヲ尊重保護スヘシ

第七條 衛生上ノ移動機關及固定營造物カ害敵行爲ノ爲ニ使用セラル、トキハ其ノ保護ヲ失フヘシ

第八條 左記ノ事項ハ衛生上ノ移動機關又ハ固定營造物カ第六條ニ依リ保障セラレタル保護ヲ喪失スヘキ性質ノモノト見做サス

第一 移動機關又ハ固定營造物ノ人員カ武裝シ其ノ武器ヲ自己又ハ傷者病者ノ防衛ノ爲ニ使用スルノ事實

第二 武裝護人ノ在ラサルニ當リ正式ノ命令ヲ携帯スル歩哨又ハ衛兵ヲシテ移動機關又ハ固定營造物ヲ守衛セシムルノ事實

第三 傷者ヨリ取上タルモ未タ所轄部署ニ引渡サレサル武器及藥筒カ移動機關又ハ固定營造物内ニ發見セラレタルノ事實

第三章 人員

第九條 傷者及病者ノ收容輸送及治療並衛生上ノ移動機關及固定營造物ノ事務ニ專ラ從事スル人員軍隊附屬ノ教法者ハ如何ナル場合ニ於テモ尊重保護セラレヘク敵手ニ陥リタルトキト雖モ俘虜トシテ取扱ハル、コトナカルヘシ

前項ノ規定ハ第八條第二號ノ場合ニ於テ衛生上ノ移動機關及固定營造物ノ守衛人員ニモ之ヲ適用ス

第十條 本國政府カ適法ニ認可シタル篤志救恤協會ノ人員ニシテ軍隊衛生上ノ移動機關及固定營造物ニ使用セラル、者ハ前條ニ掲ケタル人員ト同一ニ看做サルヘシ

但該人員ハ陸軍ノ法律規則ニ服従スヘキモノトス各國ハ其ノ責任ノ下ニ在リテ軍隊ノ衛生勤務ニ幫助ヲ與フコトヲ許可シタル協會ノ名稱ヲ平時ヨリ又戰爭開始ノ際若ハ戰爭中何レノ場合ニモ之ヲ有效ニ使用スルニ先チ他ノ一方ノ國ニ通告スルヲ要ス

第十一條 中立國ニ於テ認可セラレタル協會ハ豫メ其ノ國政府ノ承認ヲ得タル上當該交戦者ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ人員及衛生上ノ移動機關ヲシテ同交戦者ニ幫助ヲ與ヘシムルコトヲ得ス

右救護ヲ承諾シタル交戦者ハ其ノ使用ニ先チ之ヲ敵國ニ通告スヘシ  
第十二條 第九條第十條及第十一條ニ掲ケタル人員ハ敵ノ權内ニ陥リタル後モ其指揮ノ下ニ在リテ引續キ各自ノ職務ヲ執行スヘシ

前項人員ノ幫助カ既ニ必要ナキニ至ラタルトキハ軍事上ノ必要ト相容ル、時期及通路ニ從テ之ヲ所屬軍隊又其ノ本國ニ送還スヘシ  
右人員ハ各自ノ私有ニ屬スル被服器具、武器及馬匹ヲ持テ去ルヲ得ヘシ

第十三條 敵國第九條ニ掲ケタル人員カ其ノ權内ニ在ル間自國軍隊ノ同一等級ノ者ニ給與スル下同額ノ給養及俸給ヲ之ニ支給スヘシ

第四章 材料

第十四條 衛生上ノ移動機關ハ敵ノ權内ニ陥ルトキト雖モ其ノ輸送方法護送人員ヲ如何ヲ問ハス所屬材料ヲ保有ス同材料中ニハ輓馬ヲモ包含スルモノトス但所轄陸軍官憲ハ傷者及病者看護ノ爲該材料ヲ使用スルハ權能ヲ有スヘシ其ノ材料ハ衛生人員ノ爲ニ定メラレタル條件ニ依リ且戒ルヘク衛生人員ト同時ニ之ヲ還付スヘシ

第十五條 固定營造物ノ建物及材料ハ戰爭ノ法規ニ從テ然レトモ傷者及病者ノ爲ニ必要ナル間ハ其ノ用途ヲ他ニ轉スルコトヲ得ス但作戰部隊ノ指揮官ハ重大ナル軍事上ノ必要アル時ハ豫メ固定營造物内ニ在ル傷者及病者ノ安全ヲ謀リタル後便宜之ヲ處分スルコトアルヘシ

第十六條 本條約ニ定メタル條件ニ從ヒ條約上ノ利益ヲ享有スル救恤協會ノ材料ハ私有ノ財産ト看做サレ之カ爲戰爭ノ法規慣例ニ基キ交戦者ニ屬スル徵發權ニ依ルヲ除クノ外如何ナル場合ニ於テモ尊重セララルヘシ

第五章 後送機關

第十七條 後送機關ハ左ノ特別規定ニ依ルノ外衛生上ノ異動機關トシテ取扱ハラルヘシ

- 第一 後送機關ヲ遮斷スル交戦者カ軍事上ノ必要アル場合ニハ該後送機關ノ收容シタル病者及傷者ヲ引受ケタル後之ヲ解カシムルコトヲ得ヘシ
- 第二 前號ノ場合ニ於テ第十二條ニ規定セラレタル衛生人員送還シ義務ハ正式ノ命令ヲ携帶シテ輸送又ハ後送機關ノ護衛ニ任スル一切ノ軍人軍屬ニ及フヘシ

第十四條ニ規定シタル衛生材料還付ノ義務ハ特ニ後送ノ爲ニ組織セラレタル鐵道列車及内地航行ノ船舶並衛生勤務ニ屬スル普通ノ車輛列車及船舶ノ裝置材料ニ適用セララルヘシ

衛生勤務ニ屬セサル軍隊ノ車輛ハ其ノ輓馬ト共ニ捕獲スルヲ得ヘシ  
普通人民及徴發ニ依リテ得タル各種ノ輸送物件ハ國際公法ノ通則ニ從フヘ  
キモノトス同物件中ニハ後送ノ爲ニ使用セラル、鐵道材料及船舟ヲモ包含  
スルモノトス

第六章 特別記章

第十八條 瑞西國ニ對シ敬意ヲ表スル爲該聯邦國旗ノ著色ヲ顛倒シテ作成シタ  
ル白地赤十字ノ紋章ハ軍隊衛生勤務上ノ特別記章トシテ維持セラルヘシ

第十九條 前條記章ハ所轄陸軍官憲ノ認許ニ依リ衛生勤務ニ關係スル旗臂章及  
一切ノ材料ニ表出セラルヘシ

第二十條 第九條第一項第十條及第十一條ニ依リ保護セラル、人員ハ所轄陸軍  
官憲ヨリ交付シ且其ノ印章ヲ捺シタル白地赤十字ノ臂章ヲ左腕ニ裝著スヘク  
陸軍衛生勤務ニ従事スル人員ニシテ軍服ヲ著セサルモノハ認識證明書ヲ併セ  
携帯スヘシ

第二十一條 本條約ニ依リテ尊重セラル、衛生上ノ移動機關及固定營造物ニシ  
テ陸軍官憲ノ認許ヲ受ケタルモノニ非サレハ本條約ノ記章旗ハ之ヲ掲揚スル

コトヲ得ス右記章旗ハ該機關又ハ營造物所屬交戦者ノ國旗ト共ニ掲揚スヘシ  
但敵ノ權内ニ陥リタル衛生上ノ移動機關ハ其地位ノ繼續スル間赤十字旗ノ外  
他ノ國旗ヲ掲揚スヘカラス

第二十二條 第十一條ニ規定シタル條件ニ依リ其ノ勤務ヲ幫助スルノ許可ヲ得  
タル中立國ノ衛生上ノ移動機關ハ本條約ノ記章旗ト共ニ所屬交戦者ノ國旗ヲ  
掲揚スヘシ

前條二項ノ規定ハ前項ノ衛生上ノ移動機關ニモ之ヲ適用ス

第二十三條 白地ニ赤十字ノ記章及赤十字又ハ「ジエネヴァ十字」ナル稱號ハ平時  
ト戰時トヲ問ハス本條約ニ依リテ保護セラル、衛生上ノ移動機關、固定營造物  
人員及材料ヲ保護シ又ハ標榜スル爲ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第七章 條約ノ適用及執行

第二十四條 締盟國中ノ二國又ハ數國間ニ戰爭アル場合ニ限リ締盟國ハ本條約  
ノ規定ヲ遵守スルノ義務アルモノトス此ノ規定ヲ遵守スルノ義務ハ交戦國ノ  
一カ本條約ノ記名者ナラサル時ヨリ消滅スルモノトス

第二十五條 交戦軍ノ司令長官ハ各其ノ本國政府ノ訓令ニ從ヒ且本條約ノ綱領

ニ準據シ前諸條ノ執行ニ關スル細目及規定漏ノ事項ヲ補足處理スヘシ  
第二十六條 記名國政府ハ本條約ノ規定ヲ其ノ軍隊及特ニ保護セラル、人員ニ  
教示シ且之ヲ國民ニ知悉セシムルカ爲必要ナル手段ヲ執ルヘシ

第八章 濫用及違犯ノ禁制

第二十七條 記名國政府ニシテ其ノ現行法制完全ナラサルモノハ本條約ニ依リ  
權利ヲ享有スルモノ以外ノ個人又ハ協會ニ於テ「赤十字」又ハ「ジエネヴァ十字」ナ  
ル記章又ハ名稱ヲ使用シ就中商業上ノ目的ヲ以テ製造標又ハ商標ノ方法ニ依  
リ之ヲ用ヒルコトヲ常ニ防止センカ爲必要ナル手段ヲ執リ又ハ之ヲ其ノ立法  
府ニ提案スヘキコトヲ約ス

前項ニ規定シタル記章又ハ名稱ノ使用禁止ハ各國ノ法制ニ依リテ定メラレタ  
ル時期ヨリ其ノ效力ヲ生スヘク遅クトモ本條約實施後五年以内ニ其ノ效力ヲ  
生スヘシ本條約實施後ハ同禁止ニ牴觸スル製造標又ハ商標ノ使用ヲ以テ不法  
トス

第二十八條 記名國政府ニシテ其ノ陸軍刑法不完全ナル場合ニハ戰時ニ於テ軍  
隊ノ傷者及病者ニ對スル個人的掠奪及虐待行爲ヲ禁制シ且本條約ニ依リテ保

護セラレタル軍人又ハ個人ノ爲シタル赤十字ノ記章旗及臂章ノ濫用ヲ陸軍記  
章ノ侵犯トシテ處罰スルニ必要ナル手段ヲ執リ又ハ之ヲ其ノ立法府ニ提案ス  
ヘキコトヲ約ス

記名國政府ハ遅クトモ本條約批准後五年以内ニ瑞西聯邦政府ヲ經テ右禁制ニ  
關スル規定ヲ互ニ相通告スヘシ

總則

第二十九條 本條約ハ成ルヘク速ニ批准スヘシ

批准書ハ「ベルヌ」府ニ保管ス

各批准書ニ付一通ノ保管證書ヲ作り其ノ認證謄本ヲ外交上ノ手續ニヨリ各締  
盟國ニ交付スヘシ

第三十條 本條約ハ各締盟國カ其批准書ヲ提供シタル日ヨリ六個月ノ後其國ニ  
對シテ效力ヲ生スヘシ

第三十一條 正當ニ批准セラレタル本條約ハ締盟國間ノ關係ニ於テ千八百六十  
四年八月二十二日ノ條約ニ代フルモノトス

千八百六十四年ノ條約ハ之ニ記名シタルモ本條約ヲ批准セサル諸國間ノ關係ニ

付テハ引續キ效力ヲ有スヘキモノトス

第三十二條 本條約ハ千九百六年六月十一日「ジエネヴァ」ニ開會シタル萬國會議ニ代表者ヲ派遣シタル諸國及該萬國會議ニ代表者ヲ派遣セサルモ千八百六十四年ノ條約ニ記名シタル諸國ニ依リ本年十二月三十一日迄ニ記名セラレ得ルモノトス

千九百六年十二月三十一日迄ニ本條約ニ記名セサル諸國ハ其ノ後ニ至リ之ニ加盟スルノ自由ヲ有スヘシ其ノ加盟ハ書面ヲ以テ瑞西聯邦政府ニ通告シ同政府ヨリ更ニ之ヲ各締盟國ニ通知スヘキモノトス

他ノ諸國モ亦同ノ形式ニ依リ加盟ヲ請求スルヲ得ヘシ但シ其ノ請求ハ瑞西聯邦政府ニ通告ヲ爲シタル日ヨリ一年ヲ經過スルモ締盟國ノ何レヨリモ同政府ヘ異議ヲ申入レサルトキニ限り始メテ其效力ヲ生スヘキモノトス

第三十三條 各締盟國ハ本條約ヲ廢棄スルノ權能ヲ有ス其ノ廢棄ハ書面ヲ以テ之ヲ瑞西聯邦政府ニ通告シタル後一年ヲ經過スルニ非サレハ效力ヲ生スルコトナシ瑞西聯邦政府ハ右通告ヲ爾餘ノ締盟國ニ直ニ通知スヘシ前項ノ廢棄ハ之ヲ通告シタル國ニ對シテノミ其ノ效力ヲ生スルモノトス

(二) 名譽社員人名書

皇族中ニハ初ニ名譽社員ニ推崇シ後有功章ヲ進呈セルモノト初ニ有功章ヲ進呈シ後名譽社員ニ推崇セルモノトアリ今一々之ヲ區別セス而シテ明治廿五年以後即チ載仁親王妃殿下以下ハ名譽社員ニ推崇シ同時ニ有功章ヲ進呈セルモノトス

明治十九年十二月十九日  
明治廿三年五月廿日

- 全 一品 大勳位 熾仁親王殿下
- 全 總裁 大勳位 彰仁親王殿下
- 全 御首 護婦人會 熾仁親王妃董子殿下
- 全 御首 護婦人會 彰仁親王妃賴子殿下
- 全 幹事 護婦人會 晃親王殿下
- 全 大勳位 貞愛親王殿下
- 全 大勳位 貞愛親王妃利子女王殿下
- 全 幹事 護婦人會 朝彥親王殿下
- 全 大勳位 能久親王殿下
- 全 大勳位 能久親王妃富子殿下
- 全 幹事 護婦人會

全	大勳位 威仁親王殿下	明治卅一年四月廿八日
全	大勳位 威仁親王妃慰子殿下	全
全	大勳位 載仁親王殿下	全
全	大勳位 故博經親王妃郁子殿下	全
全	久邇宮榮子女王殿下	全
全	暹羅國 バヌラングセ殿下	全
全	大勳位 載仁親王妃智恵子殿下	全
全	大勳位 依仁親王殿下	全
全	邦 憲王殿下	全
全	全妃好子殿下	全
全	勳一等 菊麿王殿下	全
全	勳一等 守正王殿下	全
全	勳一等 依仁親王殿下	全
全	勳一等 菊麿王殿下	全
全	勳一等 依仁親王妃周子殿下	全

全	勳一等 伊太利國 コントド、チユラン殿下	全
全	勳一等 邦彦王殿下	全
全	勳二等 獨逸國 ハイニンリツヒ親王殿下	全
全	勳二等 獨逸國 フルデマール親王殿下	全
全	勳二等 邦彦王妃伊都子殿下	全
全	勳二等 守正王妃伊都子殿下	全
全	勳二等 貝子載振殿下	全
全	勳二等 清國 佐野常民	全
全	勳二等 社長 伯爵 佐野常民	全
全	勳二等 副社長 子爵 大給 恒	全
全	勳二等 勳二等 菊麿王妃常子殿下	全
全	勳二等 勳二等 恒久王殿下	全
全	勳二等 勳二等 恒久王殿下	全
全	勳二等 勳二等 久邇宮篤子女王殿下	全
全	勳二等 勳二等 英 國 アーサー、オフ、コンノット殿下	全
全	勳二等 勳二等 英 國	全

全	四月四日	伊 太 利 國	プランス、ド、ウヂネ殿下
全	五月二日	韓 國	義 親 王殿下
全	五月十日	暹 羅 國	プリンスマ、ナコンチアイシ殿下
全	十月十一日	韓 國	皇 帝 陛 下
全	十二月廿日	全	皇 太 子 殿 下
全		社 長	伯 爵 松 方 正 義
全		副 社 長	男 爵 花 房 義 質
全		常 議 員	男 爵 石 黒 忠 應
全		動 一 等	多 嘉 王 殿 下
全		動 二 等	全 妃 靜 子 殿 下

計 五十名

(三) 有功章授與者人名書

有功章授與者ハ皇族功勞者寄附者ノ三ニ分チ各年月ノ順序ニ依リ之ヲ列記シタリ  
 人名上ノ官職名又ハ本社職名等ハ授與當時ノ職名トス

有功章ハ社員ニアラサル者正社員又ハ特別社員ニ授與セルノ三種アリ初ハ社員タラサル者ニ授與スルトキハ同時ニ正社員ニ列シ廿五年ニ至リ有功章佩用者ハ都テ特別社員ニ推薦スルコト、ナレリ本書中特別社員ヲ表記セル者ハ有功章授與前既ニ功勞又ハ篤志ニ依リテ特別社員ニ推薦セラレタル者其他表記ナキ者ハ有功章授與ト同時ニ特別社員ニ推薦シタリ要スルニ有功章佩用者ハ名譽社員ニアラサレハ特別社員タル者トス  
 有功章受領ノ後更ニ著大ノ功績ヲ舉クル者又ハ更ニ多額ノ寄附金ヲ爲ス者共ニ甚多シ一々之ヲ追記セント欲スルモ殆ト際限ナキヲ恐ル仍テ茲ニハ單ニ名譽社員又ハ有功章佩用者タルコトヲ表明スルニ止メタリ

(一) 皇 族

明治廿一年十月廿六日	名譽社員一品大勳位	熾 仁 親 王 殿 下
全	二 品 大 勳 位	彰 仁 親 王 殿 下
全		熾 仁 親 王 妃 董 子 殿 下
全		彰 仁 親 王 妃 賴 子 殿 下
明治廿二年四月廿七日	大 勳 位	晃 親 王 殿 下



附錄 有功章授與者人名書

四四

全	大	動	位	貞愛親王殿下
全	大	動	位	貞愛親王妃利子女王殿下
全	大	動	位	朝彥親王殿下
全	大	動	位	能久親王殿下
全	大	動	位	能久親王妃富子殿下
全	大	動	位	威仁親王殿下
全	大	動	位	威仁親王妃慰子殿下
全	大	動	位	載仁親王殿下
全	大	動	位	故博經親王妃郁子殿下
全	大	動	位	榮子女王殿下
全	大	動	位	載仁親王妃智惠子殿下
全	大	動	位	依仁親王殿下
全	大	動	位	邦憲王殿下
全	大	動	位	邦憲王妃好子殿下
全	大	動	位	菊麿王殿下
全	大	動	位	菊麿王殿下

全	大	動	位	守正王殿下
全	大	動	位	博恭王妃經子殿下
全	大	動	位	菊麿王妃範子殿下
全	大	動	位	博恭王殿下
全	大	動	位	依仁親王妃周子殿下
全	大	動	位	邦彥王殿下
全	大	動	位	邦彥王妃倪子殿下
全	大	動	位	守正王妃伊都子殿下
全	大	動	位	菊麿王妃常子殿下
全	大	動	位	恒久王殿下
全	大	動	位	篤子女王殿下
全	大	動	位	多嘉王殿下
全	大	動	位	多嘉王妃靜子殿下

計 三十三名

(二) 功勞者

附錄 有功章授與者人名書

四五

明治廿一年十月廿六日

全	(内閣總理大臣)	伯爵	伊藤博文
全	(參謀本部長)	伯爵	山縣有朋
全	(海軍大臣)	伯爵	西鄉從道
全	(陸軍大臣)	伯爵	大山巖
全	(宮内大臣)	子爵	土方久元
全	社	長子爵	佐野常民
全	副社	長子爵	大野給恒
全	常議員病院院長		橋本綱常
全	常議員病院監事		石黒忠真
全	幹事	子爵	櫻井忠興
全	幹事	子爵	松平乘承
全	(宮中顧問官)	伯爵	佐々木高行
全	常議員	伯爵	吉井友實
全	(皇太后宮大夫)	子爵	杉孫七郎
全	(皇后宮大夫)	子爵	香川敬三

明治廿二年四月廿七日

全	常議員	侯爵	鍋島直大
全	副社長	男爵	花房義實
全	常議員	男爵	小澤武雄
全	元博愛社議員	男爵	緒方惟準
全	常議員		赤松則良
全	常議員		桂太一郎
全	常議員		伊達宗城
全	特選幹事		平山成信
全	幹事	子爵	松平信正
全	元博愛社委員心得	特別社員	原田隆
全	元博愛社議員		平山省齋
全	獨	特別社員	ル、フラン、アレキサンド
全	塊		ド、アラン、ス、ボンリ、
全			全 妃 殿 下
全			川 崎 祐 名

十月三十日

七月六日

附錄 有功章授與者人名書

全	明治廿三年五月廿二日	常 議 員	公 爵	三 條 實 美
全	九月六日	元 病 院 副 院 長	特 別 社 員	渡 邊 洪 基
全	明治廿四年四月廿一日	元 博 愛 社 大 坂 支 局 委 員 議 員	特 別 社 員	石 坂 惟 寬
全	明治廿五年四月廿八日	篤 志 看 護 婦 人 會 講 師 看 護 婦 養 成 委 員 長	特 別 社 員	石 丸 安 世
全	明治廿六年六月十七日	北 海 道 支 部 長	全	足 立 國 道 寬
全	明治廿七年十二月廿八日	兵 庫 支 部 長	全	北 垣 公 道
全		宮 城 支 部 長	特 別 社 員	周 布 公 平
全	明治廿八年六月十二日	大 阪 支 部 長	特 別 社 員	勝 間 田 稔
全		新 潟 支 部 長	特 別 社 員	山 田 信 道
全		熊 本 支 部 長	全	籠 手 田 安 定
全		廣 島 支 部 長	全	松 平 正 直
全		群 馬 支 部 長	全	鍋 島 元 幹
全	明治廿九年六月八日	幹 事	特 別 社 員	中 村 元 雄
全		常 議 員 會 計 監 事	全	飯 水 清 俊

全	十月十六日	大 阪 支 部 長	特 別 社 員	內 海 忠 勝
全	明治三十年三月五日	長 野 支 部 長	全	高 崎 親 章
全		栃 木 支 部 長	特 別 社 員	佐 藤 暢
全		神 奈 川 支 部 長	全	中 野 健 明
全	五月廿日	元 靜 岡 支 部 長	全	小 松 原 英 太 郎
全		元 岡 山 支 部 長	全	河 野 忠 三
全		元 大 分 支 部 長	全	山 田 爲 暄
全		元 千 葉 支 部 長	全	阿 部 浩
全		元 石 川 支 部 長	特 別 社 員	三 間 正 弘
全	八月廿五日	三 重 支 部 長	特 別 社 員	田 邊 輝 實
全		名 古 屋 支 部 長	特 別 社 員	時 任 爲 基
全	十月七日	香 川 支 部 長	全	德 久 恒 範
全	十二月廿二日	主 事	全	笠 原 光 雄
全		東 京 支 部 商 議 員	全	和 田 義 質
全		廣 島 支 部 幹 事	全	河 野 葎 一

附錄 有功章授與者人名書

附錄 有功章授與者人名書

全	香川支部幹事	全	中村石松
明治三十一年四月十二日	鹿兒嶋支部長	特別社員	加納久宜
全	福岡支部長	特別社員	岩村高俊
全	静岡支部長	特別社員	千家尊福
全	山梨支部長	伯爵	清樓家教
全	石川支部長	特別社員	古澤滋
全	宮崎支部長	特別社員	千田貞曉
全	愛媛支部幹事	特別社員	吉川元雄
六月十日	滋賀支部長	全	折田平内
全	岐阜支部長	全	安樂兼道
全	福井支部長	全	關新吾
全	鳥取支部長	全	荒川義太郎
九月廿日	名古屋支部長	全	江木千之
全	臺北支部長	全	村上義雄
全	岡山縣	全	金光陣

五〇

全	神奈川支部長	全	淺田德則
十月廿二日	東京支部長	肥塚龍一	
十一月十一日	兵庫支部長	特別社員	大森鍾一
十二月十三日	秋田支部長	全	岩男三郎
全	幹事	全	黑田綱彦
十二月廿三日	大阪支部副長	全	西澤正太郎
明治三十二年四月一日	神奈川支部副長	全	李家隆介
全	鹿兒嶋支部副長	全	阪元純熙
全	岡山支部幹事	全	佐藤範雄
全	長野支部委員長	全	森田斐雄
四月廿五日	名古屋支部長	全	沖守固
九月廿三日	岩手支部長	全	末弘直方
十二月八日	宮城支部副長	特別社員	山田揆一
十二月廿七日	臺北縣	特別社員	兒玉源太郎
明治三十三年二月十日	特別社員	特別社員	侯爵鍋島直夫人榮子
四月五日	特別社員	特別社員	

附錄 有功章授與者人名書

五一

全	四月十三日	長野支部長	全	子爵仁禮景範夫人壽賀子
全		大分支部長	全	押川則吉
全		福岡支部長	全	鈴木定直
全	四月二十日		全	深野一三
全	十月十二日	東京支部副長	全	村上義雄夫人須磨子
全		東京支部委員總長	全	坂本鈺之助
全	十月三十一日		特別社員	松田秀雄
全			全	三條治子
全	十一月廿四日	弘濟九醫長	全	毛利安子
全	十二月十五日	<small>瑞西國ゲエネツ萬國赤十字中央社長</small>	全	吉田顯三
全	明治三十四年二月廿六日	元大坂支部幹事	特別社員	グスターヴモアニエー旭形龜太郎
全	三月一日	奈良支部長	全	寺原長輝
全		山口支部副長	全	川上親晴
全	三月十三日	元埼玉支部長	特別社員 伯爵	正親町實正

全	七月廿三日	埼玉支部副長	特別社員	横山三郎
全	八月七日	福島支部長	全	村雲日榮
全	九月六日		全	有田義資
全	十月三十日	富山支部長	全	故伯爵小笠原忠忱夫人純子 檜垣直右
全	十一月八日	(海軍々醫總監)	男爵	實吉安純
全	十一月十八日	(陸軍々醫監)		小池正直
全		(陸軍二等軍醫正)		松本三郎
全	十二月三日	滋賀支部長	特別社員	河島醇
全		宮城支部長	全	小野田元熙
全	明治三十五年一月廿七日	青森支部長	全	山之内一次
全	四月廿一日	愛媛支部長	全	本部泰
全		元臺北支部臨時委員	全	藤田嗣章
全	十月十五日	常議員	全	山上兼善
全		病院内科主幹	全	岩井禎三

全	十月十八日	(天 阪 府)	長谷川 爲治
全		三重支部長	特別社員 古 莊 嘉 門
全		静岡支部長	全 山 田 春 三
全		常 議 員	全 島 地 默 雷
全		理 事	全 佐 和 正
全		病院治療主幹	全 難 波 一
全		病院治療主幹	全 小 西 功
全		常 議 員	特別社員 法學博士 有 賀 長 雄
全		神奈川支部商議員	特別社員 箕 田 長 三 郎
全		理 事	全 長 崎 省 吾
全		石川支部副長	全 增 永 洋 吉
全	十月廿一日	長野支部委員長	全 小 嶋 義 知
全		新潟支部委員長	全 林 信
全		京都支部副長	全 青 木 磐 雄
全		東京支部副長	全 床 次 竹 二 郎

全		東京支部元委員長	全 仁 杉 英
全		長野支部商議員	全 和 田 郡 平
全		富山支部商議員	全 高 廣 次 平
全		新潟支部長	特別社員 柏 田 盛 文
全	十二月廿五日	兵庫支部長	全 服 部 一 三
全		德島支部委員長	全 岩 本 晴 之
全	明治三十六年一月廿一日	病院看護婦監督	全 高 山 盈 子
全	二月十八日	和歌山支部長	全 椿 葉 一 郎
全		佐賀支部長	全 香 川 輝
全		德島支部副長	全 告 森 良
全		宮崎支部副長	全 田 中 直 達
全		元山形支部長	全 關 義 臣
全	四月廿四日	愛媛支部副長	全 西 田 榮 太 郎
全		愛媛支部委員長	全 小 松 崎 吉 郎
全	十月五日	新潟支部副長	全 田 中 坤 六

附錄 有功章授與者人名書

全	靜岡支部委員長	全	松井良哉		
全	千葉支部委員長	全	中山欽一郎		
全	岩手支部部長	全	北條元利		
全	岩手支部副長	全	池永端		
全	長野支部部長	全	關清英		
全	元青森支部副長	全	岡喜七郎		
全	元岡山支部副長	全	菅之芳		
全	岡山支部幹事	全	西村益三		
全	山形支部部長	全	田中貴道		
全	十二月廿五日	全	神奈川支部副長	全	谷口留五郎
全	愛知支部副長	全	後藤松吉郎		
全	富山支部副長	全	鈴木隆		
全	廣島支部副長	全	三橋勝到		
全	東京支部委員長	全	村上佳景		
全	東京支部幹事	全	比村萬正		

明治三十七年二月廿四日

全	獨	國	全	アトルフ、ウゴルフスハイム
全	鳥取支部部長	全	寺田祐之	
全	大坂支部委員長	全	白男川實福	
全	大坂支部委員長	全	深瀬和直	
全	清	國	張玉濤	
全	京城特別委員長	全	三增久米吉	
全	清	國	趙爾巽	
全	九月廿四日	全	張紹華	
全	十月十日	獨	マックス、ネヨツスレル	
全	愛媛支部部長	特別社員	菅井誠美	
全	十一月十一日	特別社員	菅方正義	
全	十二月廿七日	特別社員	松方正義	
全	埼玉支部部長	特別社員	木下周一	
全	群馬支部部長	全	吉見輝	
全	長崎支部副長	全	馬淵銳太郎	
全	長野支部副長	全	横田太一郎	

附錄 有功章授與者人名書

全	元宮城支部副長	全	平岡定太郎
全	元鳥取支部副長	全	薄定吉
全	東京支部委員長	全	大庭知榮
全	長野支部商議員	全	湯本宣成
全	千葉支部商議員	全	小野田周齋
全	(兵)庫縣	全	角藤鐵吉
全	和歌山支部會計監事	全	宮本吉右衛門
全	臺灣支部長	全	後藤新平
全	鹿兒島支部長	全	千頭清臣
全	露國赤十字社主事	全	バラシヨーフ
全	英	特別社員	リチャードソン夫人
全	韓國特別委員長	全	林權助
全	(仁川看護婦會幹事長)	特別社員	加藤直枝
全	(漢城病院院長)	全	和田八千穂
全	(仁川公立病院長)	全	松村三省
全	東京支部委員長	全	近藤政利
全	群馬支部委員長	全	關銚三郎
全	大分支部長	全	大久保利武
全	遼東委員總長	全	神尾光臣
全	富山支部委員長	特別社員	藤井務
全	全	全	堀二作
全	遼東委員副總長	全	賀古鶴所
全	福井支部委員長	全	並木立彌
全	全	全	土持兼白
全	獨	全	男爵夫人フルバツ、ハッ
全	獨	全	ルム、エルバツ、ハッ
全	九月五日	全	フルツクス、フイツシエル
全	十月十三日	全	埃國 <small>維也納領事</small>
全	十月十六日	全	高知支部長 <small>特別社員</small>
全	十月廿日	全	靜岡支部副長
全	十月廿日	全	獨
全	十一月二十日	全	山口支部長
全	十一月二十日	全	渡邊融

全	東京支部委員長	全	近藤政利
全	群馬支部委員長	全	關銚三郎
全	大分支部長	全	大久保利武
全	遼東委員總長	全	神尾光臣
全	富山支部委員長	特別社員	藤井務
全	全	全	堀二作
全	遼東委員副總長	全	賀古鶴所
全	福井支部委員長	全	並木立彌
全	全	全	土持兼白
全	獨	全	男爵夫人フルバツ、ハッ
全	獨	全	ルム、エルバツ、ハッ
全	九月五日	全	フルツクス、フイツシエル
全	十月十三日	全	埃國 <small>維也納領事</small>
全	十月十六日	全	高知支部長 <small>特別社員</small>
全	十月廿日	全	靜岡支部副長
全	十月廿日	全	獨
全	十一月二十日	全	山口支部長
全	十一月二十日	全	渡邊融



全	東京支部委員長	全	風祭甚三郎
全	千葉支部部長	全	石原健三
全	茨木支部委員長	全	福田
全	(宮内大臣)	特別社員	田中光顯
全	常議員理事	特別社員	鈴木大亮
全	常議員	特別社員	榎本武揚
全	常議員	特別社員	富田鐵之助
全	滋賀支部副長	全	伊澤多喜男
全	滋賀支部委員長	全	松田宗壽
全	全	全	遠藤宗義
全	全	全	北川良慎
全	富山支部委員長	特別社員	松山願武
全	茨木支部副長	全	西久保弘道
全	(海軍大臣)	男爵	山本權兵衛
全	(陸軍大臣)	全	寺内正毅

全	(留守第五師團長)	特別社員	眞鍋斌
全	(宇品碓泊場司令官)	全	大久保德明
全	鹿兒嶋支部副長	全	俵孫一
全	四月廿七日	全	沼澤七郎
全	四月廿七日	全	香川支部幹事兼會計監事
全	五月廿五日	全	和歌山支部委員長
全	全	全	(和歌山)
全	全	全	御前利平次
全	全	全	藤原榮三郎
全	六月七日	全	安藤謙介
全	全	全	愛媛支部部長
全	全	全	岡山支部副長
全	全	特別社員	葛寛藏
全	全	特別社員	園田安賢
全	全	特別社員	北海道支部部長
全	全	特別社員	宮城支部部長
全	全	全	落合泰藏
全	六月十一日	全	東京支部委員長
全	七月五日	全	山形支部商議員
全	七月十六日	全	岸赤十藏
全	全	全	埼玉支部委員長
全	全	全	早川光藏

附錄 有功章授與者人名書

八月三日

全	愛媛支部委員長	全	淺野	長道
全	岡山支部委員長	全	小澤	秦
全	石川支部副長	全	阿南	尙
全	福井支部副長	全	昌谷	彰
全	兵庫支部副長	全	永井	環
全	元大分支部長	全	小倉	久
全	元栃木支部長	全	白仁	武
全	沖繩支部副長	全	日比	重明
全	(陸軍々々醫總監)	全	佐藤	進
全	(海軍々々醫總監)	全	戸塚	環海
全	(第二軍々々醫部長)	全	森林	太郎
全	(鴨綠江軍々々醫部長)	全	横井	俊藏
全	(留守第十師團軍醫部長)	全	草刈	義哉
全	(第五師團軍醫部長)	全	芳賀	榮次郎
全	(第一軍兵站軍醫部長)	全	田中	彌太郎

六二

十一月一日

全	(遼陽兵站軍醫部長)	全	長宗	我部俊城
全	(小倉豫備病院長)	全	村田	豊作
全	(陸軍省醫務局衛生課長)	全	三浦	得一郎
全	(元陸軍省醫務局醫事課長)	全	長谷川	春朗
全	(留守第一師團軍醫部長)	全	武谷	水城
全	(海軍大臣)	全	齋藤	實
全	(陸軍次官)	全	石本	新六
全	(第一軍々々醫部長)	全	菊地	常三郎
全	(韓國駐劄軍々々醫部長)	全	谷口	謙
全	(廣嶋豫備病院長)	全	大西	龜太郎
全	(大阪豫備病院長)	全	宇木	碩太郎
全	(留守第四師團軍醫部長)	全	木村	達
全	(東京豫備病院長)	全	平井	政道
全	(全澁谷分院長)	全	保利	真直
全	(第十五銀行頭取)	全	園田	孝吉

附錄 有功章授與者人名書

六三

全	(大連兵站病院長)	有馬太郎
全	愛知支部委員長	特別社員 津田顯孝
全		市川信順
全		脇屋義純
全		有吉寬
全	熊本支部委員長	尾形惟昭
全	十一月廿七日 元營口委員長	與倉喜平
全	十二月三日 茨城支部副長	小田切磐太郎
全	和歌山支部副長	川嶋純幹
全	熊本支部副長	笠井信一
全	十二月十七日 埼玉支部委員長	島崎廣太郎
全		中村孫兵衛
全		阪本與惣次郎
全	元平壤委員長	菊池武一
全	岩手支部委員長	長谷川四郎

全	茨城支部委員長	市村成美
全	群馬支部委員長	石川泰三
全		高村小文治
全	北海道支部委員長	森重毅
全		山村總俊
全	十二月廿六日 (陸軍省醫務局課員)	守屋甫一郎
全	(留守第五師團軍醫部長)	渡邊泰造
全	(元陸軍省人事局長)	村山邦彦
全	(陸軍省人事局長)	本郷房太郎
全	山梨支部長	特別社員 武田千代三郎
全	長野支部長	大山綱昌
全	沖繩支部長	特別社員 奈良原繁
全	元千葉支部副長	特別社員 樋脇盛苗
全	長野支部委員長	水上浩基
全	富山支部委員長	箕浦元



全	(元佛國駐劄公使)	特別社員	本	野	一郎
全	(元紐育駐劄總領事)	全	內	田	定槌
全	(元漢口駐劄領事)	全	永	瀧	久吉
全	(桑港駐劄領事)	全	上	野	卜夕子
全	(上野季三郎夫人)				
全	(元英國駐劄大使)	子爵	林		董
全	(元英國駐劄總領事)		荒	川	巳次
全	(元暹羅國駐劄公使)		稻	垣	滿次郎
全	(獨國駐劄大使)		井	上	勝之助
全	(元奧國駐劄公使)		牧	野	伸顯
全	(元米國駐劄公使)		高	平	小五郎
全	(賞勳局書記官)		橫	田	香苗
全	(陸軍步兵大佐)		新	山	良知
全	本社內局主事	特別社員	岩	崎	駒太郎
全	本社第一部第二課長	全	土	岐	
全	本社第一部第三課長	全	小	板	忠重

六月一日

六月四日

全	本社第二部第一課長	全	杉	浦	義徳
全	兵庫支部委員長	全	赤	堀	威
全	全	全	內	海	忠誨
全	全	全	藤	井	雅太
全	全	全	有	留	清
全	全	全	武	間	謙
全	全	全	阿	部	光忠
全	全	全	宍	戸	秀策
全	全	全	小	林	伊成
全	全	全	吉	屋	雄一
全	全	全	河	毛	三郎
全	全	全	出		事
全	全	全	赤	銚	文太郎
全	全	全	折	原	巳一郎
全	全	全	藤	崎	虎二
全	全	全	靜	岡	支部幹事

附録 有功章授與者人名書

岡山支部幹事	全	萩原昌朔
長野支部委員長	全	濱音之助
岡山支部委員長	全	松山清心
本社協賛員	全	草加廉男
京都支部常務幹事	全	石川千尋
長崎支部常務幹事	全	中村和光
埼玉支部常務幹事	全	園田清
千葉支部常務幹事	全	今泉清五郎
三重支部常務幹事	全	永井謙藏
愛知支部常務幹事	全	山田覺治
静岡支部常務幹事	全	佐々木復介
長野支部常務幹事	全	田中久太郎
岩手支部常務幹事	全	木村三行
岡山支部常務幹事	全	齋藤左一
	全	佐野梨

七〇

福岡支部常務幹事	全	土岐小二郎
萬志看護婦人會 神奈川支會長事務代理	全	周布貞子
萬志看護婦人會 靜岡支會長	全	李家賞實子
元篤志看護婦人會 熊本支會長	全	江木中子
病院元會計部川度課長	全	水野良知
新潟支部委員長	全	阿部致
獨國	全	ゲオルグ、エジスタイン
常議員 文學博士	全	末松謙澄
常議員	全	本間清雄
奈良支部長	全	谷森眞男
鳥取支部長	全	川路利恭
大坂支部副長	全	山田新一郎
長崎支部副長	全	青木良雄
三重支部副長	全	秦豊助
	全	高橋要治郎

附録 有功章授與者人名書

七一

附録 有功章授與者人名書

全	奈良支部幹事兼常務幹事	兒玉利實
全	奈良支部委員長	恩田壽夫
全		村井勝治
全		尾崎裕
全		源融
全	鳥取支部委員長	水谷豊一
全	愛知支部常務幹事	高橋福三郎
全	全支部商議員	熊谷幸之輔
全	全支部商議員	北川乙治郎
全	鳥取支部協賛委員	音田八太郎
全	病院治療主幹	高橋種記
全	(休職)	小山善
全	大坂支部常務幹事	目崎武富
全	兵庫支部常務幹事	野口可輔
全	神奈川支部委員長	白根昇三

全		石川 疏
全		原田千之介
全	神奈川支部常務幹事	内藤義一
全		日比知周
全	宮城支部常務幹事	竹内壽貞
全	青森支部常務幹事	馬場文雄
全	米國軍醫總監	ニコラス、セン
全	醫學博士	ルイス、エル、シーマン
全	英國陸軍少將局長	マクフ、ハーソン
全	獨國ドクトル	ジンゲル
全	石川支部委員長	特別社員 富田輝象
全		柴田是
全		丹羽幹
全	滋賀支部常務幹事	田中亮
全	全支部委員長	友田效三

附録 有功章授與者人名書

全	小川 靜次郎
全	宮崎支部委員長
全	喜多 秀一郎
全	小幡 忠藏
全	中山 巳代藏
全	近藤 豊兆
全	佐田 家親
全	北村 武表
全	石坂 專之介
全	岩崎久彌
全	三井銀行
全	三井組
全	神奈川 茂木惣兵衛
全	箕田長二郎
全	大谷嘉兵衛
全	原 六郎
全	原 善三郎
全	平沼 專藏
全	東京伯爵柳澤保申
全	平田彦四郎
全	大木宗保
全	滋賀 下郷 傳平
全	埃國 イェドウイン、 イルグネル
全	兵庫 川崎 正藏
全	金千圓出金
全	明治廿二年ヨリ年々 金百圓出金
全	明治廿二年ヨリ年々 金千六百圓餘出金及 活人壽演藝什器一式寄贈
全	金千圓出金
全	明治廿三年五月廿二日
全	明治廿二年四月廿七日

全	岩崎久彌
全	三井銀行
全	三井組
全	神奈川 茂木惣兵衛
全	箕田長二郎
全	大谷嘉兵衛
全	原 六郎
全	原 善三郎
全	平沼 專藏
全	東京伯爵柳澤保申
全	平田彦四郎
全	大木宗保
全	滋賀 下郷 傳平
全	埃國 イェドウイン、 イルグネル
全	兵庫 川崎 正藏
全	金千圓出金
全	明治廿二年ヨリ年々 金百圓出金
全	明治廿二年ヨリ年々 金千六百圓餘出金及 活人壽演藝什器一式寄贈
全	金千圓出金
全	明治廿三年五月廿二日
全	明治廿二年四月廿七日

計 四百三十一名

(三) 篤志者

明治廿一年十月廿六日

明治十七年以來年々起業  
公債額面百圓宛出金  
〔舊公債證書額面

特別社員

滋賀 淺見 又藏  
東京 岩崎彌之助



附錄 有功章授與者人名書

全	十二月九日	明治廿三年ヨリ年々 金百圓出金	滋賀 小泉 新助
全	明治廿五年十二月十八日	金二千圓出金	米國 チャールス、パーソン 全 夫人
全	明治廿六年六月十七日	金千圓出金	北海道 吉田三郎右衛門 獨國 ア、ゲ、モスレー
全	明治廿七年十月三十日	全	東京 三井八郎右衛門
全	十一月廿二日	全	全 三井 高生
全		全	全 三井八郎次郎
全		全	全 三井三郎助
全		全	全 三井元之助
全		全	全 三井源右衛門
全		全	京都 三井復太郎
全		全	全 三井 高辰
全		全	全 三井 高保
全		全	神奈川 三井守之助

八郎右衛門以下十氏ハ明治廿二年金一萬圓醜出更ニ金千圓醜出寄附セシチ以テ三井組並各自一人出金千圓トナル

全	十一月廿八日	金千圓出金	特別社員	兵庫 小西新右衛門
全	明治廿八年二月十四日	全	全	大坂 藤田傳三郎
全	三月廿日	全	全	全 藤田 キタ
全	四月三十日	金千二十八圓出金	全	千葉 高梨兵左衛門
全	九月廿七日	金千圓出金	全	大坂 住友吉左衛門
全	十二月十一日	金千十七圓出金	特別社員	全 住友 滿壽
全	明治廿九年一月廿八日	金千圓出金	特別社員	兵庫 淺井彌兵衛
全	五月廿五日	英貨百磅出金	特別社員	英國 トムソン
全	六月八日	金千圓出金	特別社員	大坂 田中太七郎
全		全	特別社員	東京 花房千鶴子
全		全	特別社員	英國 リサ、リ、ア、ノ、ア、ノ、アル
全		全	特別社員	東京 松南 宏雅
全		全	特別社員	全 小西孝兵衛
全		全	特別社員	京都 磯野直吉
全		全	特別社員	大坂 逸身佐兵衛

附錄 有功章授與者人名書

附錄 有功章授與者人名書

全 全

全 全

七八

全 和田久左衛門  
 全 北村六右衛門  
 全 大谷竹三郎  
 全 鴻池善右衛門  
 全 善右衛門 池ミチ  
 全 松本重太郎  
 特別社員 全 阿部市郎兵衛  
 全 平瀬龜之輔  
 全 殿村エツ  
 特別社員 全 坪井平次郎  
 全 高安道純  
 全 土居通夫  
 全 勝田忠一  
 全 西尾與右衛門  
 特別社員 全 久原庄三郎

附錄 有功章授與者人名書

全 全

全 全

七九

全 阿部彦太郎  
 全 井上保次郎  
 全 岩田シク  
 又兵衛母  
 全 宅徳平  
 全 鳥井駒吉  
 全 木原忠兵衛  
 全 石崎喜兵衛  
 全 芝川又右衛門  
 全 磯村義三  
 全 藪重貞  
 全 廣海二三郎  
 特別社員 全 杉村正太郎  
 全 廣岡久右衛門  
 全 濱中八三郎  
 全 山口吉郎兵衛







附錄 有功章授與者人名書

全	七月九日	金千圓出金	特別社員	千葉 伯爵堀田正倫
全				石川 照勤
全		金千二十五圓出金		岐阜 福田繼治郎
全				静岡 松永安彦
全	九月三十日	金千圓出金		秋田 池田甚之助
全	十月三日	金千三十圓出金	特別社員	岩手 村井彌兵衛
全	十二月十三日	金千圓出金		大坂 殿村平右衛門
全			特別社員	大家 七平
全	明治三十五年二月廿四日			獨國 レナホルド、オイゲン、シム、レーデル
全	五月五日			マツクス、フオ、ン、カル、ナツナ
全	九月十日			清國 蔡 鈞
全	十月廿一日		特別社員	愛知 森 林平
全				東京 村井吉兵衛
全				京都 伯爵大谷光瑩
全				村井貞之助

附錄 有功章授與者人名書

全		金千五百二十五圓出金	特別社員	大村 彦太郎
全		金千三百圓出金		伯爵 大谷光尊
全		金千二十五圓出金		富山 米澤統三郎
全				全 米澤與三三
全		金千二十六圓餘出金		全 中田清兵衛
全		金千十八圓出金		京都 藤原忠之助
全		金千圓出金	特別社員	滋賀 鈴木忠右衛門
全				東京 高津伊兵衛
全				全 前川太郎兵衛
全				全 杉村甚兵衛
全				全 菊地長四郎
全				全 糴山半三郎
全				全 長井利右衛門
全				全 渡邊治右衛門
全				全 岩谷松平



附錄 有功章授與者人名書

九〇

全	十月卅二日	金千二十五圓出金		京都塚本與三次
全	十一月一日	全	特別社員	富山淺野長太郎
全	十一月五日	全		馬場道久
全	十一月廿日	金千圓出金	特別社員	岩手佐藤秀藏
全		金千二圓餘出金	全	中村治兵衛
全		金千圓餘出金	全	平井六右衛門
全	十一月三十日	金千二十五圓出金	全	福井右近權左衛門
全	十二月三日	金千三百二十五圓出金	全	山形本間光輝
全		金千圓出金	全	真島朋文
全		全	全	風間幸右衛門
全		全	全	木村九兵衛
全		全	特別社員	秋野光江
全		全	全	長谷川吉三郎
全		全	全	三浦權四郎
全		全	全	佐藤茂兵衛

全	明治三十七年二月九日	金千二十五圓出金	特別社員	青森橋本八右衛門
全		全	全	泉山吉兵衛
全	二月十六日	金千圓出金	全	エム、ポルス
全		全	全	エツチ、ウイグ トル、ギ、イレシ
全	二月十八日	全	特別社員	千葉茂木啓三郎
全	二月廿日	金千二百圓出金	全	神奈川小野光景
全		金千圓出金	全	米國 エフ、エー、ピバンチ
全		全	全	獨國 フガン、アルコ ワルライ
全	二月廿五日	全	全	獨國 エ、ベルツ
全		金千三百二十五圓出金	特別社員	新潟山田辰治
全		金千圓出金	全	東京松村辰次郎

附錄 有功章授與者人名書

九一



附錄 有功章授與者人名書

全	二月廿九日	全	特別社員	全	福島浪藏
全	三月二日	全	全	全	侯爵細川護成
全		全	特別社員	全	石川男爵横山隆俊
全		全	特別社員	全	兵庫直木政之介
全		金千三百二十五圓出金	特別社員	全	秋田金澤松右衛門
全	三月四日	金千圓出金	全	全	愛媛小西莊三郎
全	三月八日	金千三十圓出金	特別社員	全	兵庫品川源兵衛
全	三月九日	金千圓出金	特別社員	全	大阪上野與吉
全	三月十二日	全	全	全	獨國エフ、レツツ
全		全	全	全	韓國李祥憲
全		金千七十圓出金	全	全	大阪浮田桂造
全	三月十四日	金千圓出金	特別社員	全	松山與兵衛
全		全	特別社員	全	谷新助
全	三月十五日	全	全	全	德島西野嘉右衛門
全		全	全	全	福岡伯爵立花寛治

附錄 有功章授與者人名書

全	三月十七日	全	特別社員	全	大阪藤田平太郎
全		全	全	全	藤田富子
全		全	全	全	藤田小太郎
全		全	全	全	藤田文子
全		全	全	全	久原文子
全		全	全	全	久原房之助
全		全	全	全	久原清子
全		全	特別社員	全	山形阿部孫左衛門
全	三月十八日	金千二百圓出金	全	全	東京侯爵德川茂承
全		全	全	全	德川賴倫
全		金千圓出金	全	全	和歌山佐藤長右衛門
全		全	全	全	岩田庄一郎
全		全	全	全	大阪岡橋恒三
全		全	全	全	兵庫坪井多三郎
全		金千二十五圓出金	全	全	東京侯爵松平康莊

全	三月廿二日	金千圓出金		獨國	ベルタグループ
全	三月廿五日	金千二十五圓出金		東京	侯爵池田詮政
全	三月廿六日	金二千六十圓出金		北海道	渡邊孝平
全	三月廿六日	金千圓出金	特別社員	大阪	河盛又三郎
全	三月廿八日			兵庫	大江芳松
全	三月廿八日		特別社員	東京	高山紀齋
全	三月三十日	金千二十五圓出金		神奈川	平沼延次郎
全	三月三十日	金千二十五圓出金		全	平沼久三郎
全	三月三十日	金千圓出金	特別社員	新潟	西脇濟三郎
全	三月三十日	金千圓出金		東京	男爵夫人 井苞子
全	三月三十日	金千圓出金	特別社員	神奈川	左右田金作
全	四月一日			富山	木津太郎平
全	四月一日	金千二十五圓出金		東京	伯爵夫人 松方滿佐子
全	四月一日	金千圓出金		大阪	濱田甚兵衛
全	四月一日	金千圓出金		全	岩井勝次郎

全	四月十一日	金千五百六十圓出金	特別社員	東京	侯爵山内豊景
全	四月十一日	金千圓出金		全	同夫人 山内禎子
全	四月十一日			全	伯爵井伊直忠
全	四月十三日			全	三井養之助
全	四月廿一日	金千百十圓出金	特別社員	富山	内野信一
全	四月廿一日	金千圓出金		東京	子爵夫人 田中伊與子
全	四月廿二日	金千圓出金		全	清水ムネ子
全	四月廿七日			全	岡田治衛武
全	五月四日	金千二百圓出金	特別社員	北海道	相島哲平
全	五月七日	金千二十五圓出金		東京	手島秀一
全	五月七日	金千圓出金	特別社員	愛媛	小西萬四郎
全	五月十四日	金千二十五圓出金		丁抹	エフ、エム、ダイナリ
全	五月十四日	金千二十五圓出金		宮城	齋藤善右衛門
全	五月十八日	金千圓出金		清國	張之洞
全	五月十八日	金千圓出金		全	端方

全	五月二十日	全	特別社員	鳥取 西尾 柳衛
全	五月廿三日	全	全	岡山 星島 護一郎
全	五月廿四日	全	全	東京 三井 得右衛門
全		金千十圓餘出金	在米國	北村 福松
全	五月廿七日	金千二十五圓出金	米國	ケニヨラス
全	六月四日	金千圓出金	特別社員	新潟 今井 孫市
全	六月七日	全	全	福井 山田 歛
全	六月九日	金千十八圓出金	全	東京 渡邊 大治郎
全		金千六十圓出金	全	鳥取 吉村 徳平
全	六月十四日	金千二十五圓出金	全	全 市橋 龜藏
全	六月十五日	全	全	東京 子爵 加藤 泰秋
全	六月廿一日	金千圓出金	特別社員	全 千葉 松兵衛
全	六月廿二日	全	全	滋賀 高井 作右衛門
全	七月八日	全	全	東京 島津 田鶴子

全	七月十三日	獨貨金三千二百圓出金	全	伯備 有馬 頼萬
全	七月二十日	金千圓出金	特別社員	獨國 ヘルマン、スチルク
全	七月廿七日	全	全	東京 玉塚 榮次郎
全	七月廿九日	銀千百三十四仙	全	滋賀 稻本 利右衛門
全	八月三日	金千圓出金	特別社員	清國 張 弼士
全	八月十一日	金千二十五圓出金	全	大阪 龜岡 徳太郎
全		金千圓出金	全	兵庫 木谷 吉次郎
全	八月十八日	金千四十二圓餘出金	特別社員	大阪 大寺 龜太郎
全	八月廿九日	金千圓出金	全	鳥取 涌島 長十郎
全	九月一日	全	特別社員	全 谷口 埒晃
全	九月三日	全	全	東京 渡邊 正雄
全	九月十三日	全	全	愛知 徳川 良子
全	九月廿四日	金千三百二十五圓出金	全	獨國 パウル、エーレンス
全			全	新潟 八木 朋直
全			全	東京 小倉 久兵衛

附錄 有功章授與者人名書

全		金千三十圓出金	全	盛家龜次郎
全		金千圓出金	全	鳥取桑田熊藏
全	九月廿七日	金二千圓出金	獨國 <small>カールアントン、フオシホ ヘンツォルレルン殿下</small>	
全	十月一日	全	特別社員	長野小林暢
全	十月七日	金千二十七圓餘出金	特別社員	愛知小栗三郎
全	十月十五日	金千圓出金	清國	閔泳 詰
全	十月十九日	金千二百圓出金	特別社員	東京伯爵大村純雄
全	十月廿一日	金千三百二十五圓出金	全	小林彌兵衛
全		金千二十五圓出金	全	秋田池田文太郎
全	十一月一日	金千圓出金	全	愛知中登又左衛門
全	十一月十九日	獨貨三千圓出金	英國	アール、エル、 トム、ソル、
全	十二月十五日	金千二十五圓出金	獨國	シエドアルド、 セツセル
全	十二月十六日	金千圓出金	神奈川	白井儀三郎
全			富山	佐藤助九郎

全	十二月廿一日	全	獨國	メリヤ、イリス
全	十二月廿四日	金千二十五圓出金	特別社員	富山西田厚良
全	十二月廿七日	金千十圓出金	全	岩脇孫八
全	明治三十八年一月十二日	金千圓出金	特別社員	佛國アドルフ、ヂザン
全			全	德島美馬儀一郎
全			全	森六郎
全			全	岡山岡本八平
全			全	櫻井宗一郎
全			全	根尾宗四郎
全			全	野村理兵衛
全	一月廿日	金千一圓餘出金	全	野村久太郎
全	一月廿六日	金千圓出金	英國	マクレンウキ、 ラウキ、
全	二月十七日	金千二十五圓出金	特別社員	青森野村治三郎
全			全	京都辻忠郎兵衛
全			全	井上七右衛門

附錄 有功章授與者人名書











全	四月十一日	全	全	伊國	王仁堂
全	四月十九日	金千二十五圓出金		愛知	近藤恒吉
全	四月二十日	金二千五百圓出金		米國	同夫人
全	四月廿一日	金千圓出金		愛知	瀧定助
全	四月廿五日	全	特別社員	京都	伯爵大谷光瑞
全	五月十日	金千二十七圓餘出金		千葉	石川貞次郎
全	五月廿三日	全		東京	稻村美明
全	五月廿六日	金千五圓出金		暹羅國	プリアンス、ナロ
全	六月三日	金千圓出金		京都	芝原嘉兵衛
全	六月三日	全		兵庫	辰馬悅藏
全	六月三日	全		清國	孫震福
全	六月三日	全		全	潘玉田

全	六月七日	全	特別社員	大阪	土肥邦助
全	六月十日	金千二十七圓餘出金		兵庫	窪田長左衛門
全	六月十日	金千圓出金		東京	天野七三郎
全	六月十日	全	特別社員	全	天野源七
全	六月十日	全		全	中村磯八
全	六月十日	金千二十三圓出金		全	中村治平
全	六月十日	金千圓出金		全	三井高繼
全	六月十一日	金千二十八圓餘出金		全	石崎政藏
全	六月十一日	金千圓出金		全	牧田義雄
全	六月十一日	全		全	伊藤定七
全	六月十一日	金千五十圓出金		全	侯爵前田利為
全	六月十一日	金千圓出金	特別社員	青森	大坂金助
全	六月十一日	全		東京	子爵相馬順胤
全	六月十一日	金千二十五圓出金		青森	高谷豐之助
全	六月十一日	金千圓出金		栃木	戸田菊藏

附錄 有功章授與者人名書

全						東京服部松旭
全					特別社員	岡野榮藏
全					全	岡本善七
全	六月廿九日	金千二百圓出金	全		東京	吉川長三郎
全	八月三十一日	金千圓出金			兵庫	中山理
全	九月七日	金千二百圓出金	特別社員		東京	侯爵黒田長成
全		金千圓出金	全		滋賀	前川善三郎
全	九月廿一日		全		全	外村宇兵衛
全	十月廿五日		全		獨國	アウグスト、ススマム
全	十月三十日	金千圓餘出金	特別社員		愛知	岡田徳右衛門
全		金千圓出金	全		全	春日井丈右衛門
全	十一月一日	金千十圓餘出金	全		全	中村與右衛門
全	十一月八日	金千圓餘出金	全		滋賀	藤井善助
全	十一月十八日	金千圓出金	全		神奈川	佐伯隆運
全			全		全	渡邊タマ子

全						若尾幾造
全					英國	ダブリュ、エフ、ミツチエ
全	十一月廿日		全		特別社員	長野片倉兼太郎
全	十一月廿二日		全		全	山梨佐竹作太郎
全	十一月廿五日	金千四圓出金	全		全	長野須藤忠松
全		金千圓出金			全	阿部四之助
全			特別社員		全	吉江源次郎
全		金千圓餘出金	全		全	坂本瀬兵衛
全		金千圓出金	全		全	山田莊左衛門
全		金千二十五圓出金	全		全	上柳喜右衛門
全	十二月十四日	金千二圓餘出金	全		愛知	松澤與七
全	十二月廿二日	金千圓出金	全		富山	竹内彌三右衛門
全	明治四十年一月廿四日	金千二十五圓出金	全		秋田	中田五平
全	二月八日	金千圓出金	全		北海道	米谷秀司
全	二月十二日		全		露國	クシガルツシュ、メクメテツフ夫人

附錄 有功章授與者人名書

附錄 有功章授與者人名書

二月十五日

全

特別社員

大阪 三浦親次郎

二月十八日

金千五百圓出金

全

北海道 藤山要吉

三月七日

金千五百圓餘出金

全

獨國 フォン・バサザント

四月五日

金九百八十圓餘出金

全

英國 プラウソ

四月五日

金千二十五圓出金

全

大阪 竹田忠藏

四月五日

金千圓出金

特別社員

全 杉山團郎

四月五日

全

全

全 大塚和三郎

四月五日

全

全

全 肥塚源次郎

四月五日

全

全

全 島 德治郎

四月五日

全

全

全 岡田壽一郎

四月五日

金千二十五圓出金

全

全 梅原龜七

四月五日

全

全

全 大林芳五郎

四月五日

金千圓出金

特別社員

全 戸田猶七

四月五日

全

全

全 伊藤九兵衛

全

四月六日

金二千二十五圓出金

全

新潟 齋藤喜十郎

全

四月六日

金千圓出金

特別社員

全 大阪 本山彦一

全

四月六日

全

全

全 京都 上河とみ

全

四月六日

全

全

全 大阪 芝田大吉

全

四月七日

全

全

全 京都 杉浦三郎兵衛

全

四月七日

金千圓餘出金

全

全 井上治郎兵衛

全

四月廿三日

金千圓出金

全

全 東京 山田忠兵衛

全

四月廿四日

金千二十五圓出金

全

全 大阪 佐渡島伊兵衛

全

四月廿四日

金千圓出金

全

全 北海道 青山政吉

全

四月廿七日

金千百二十圓出金

全

全 特別社員 島根 竹下 弘

全

四月廿七日

金千圓出金

全

全 堀 藤十郎

全

四月廿九日

全

全

全 山本厚太郎

全

四月廿九日

全

全

長野 依田仙右衛門

附錄 有功章授與者人名書



附錄 有功章授與者人名書

全	六月十三日	全	秋田 池田文一郎
全		特別社員	全 庄司兵藏
全		全	全 河田與惣左衛門
全		特別社員	全 辻 兵吉
全		全	全 平野 貞治
全		全	全 江畑新之助
全	七月一日	全	全 新潟 國井伴之丞
全		全	全 中野 貫一
全		特別社員	全 白勢 春三
全		全	全 小出喜七郎
全		全	全 田卷三郎兵衛
全	七月三日	特別社員	全 保坂潤治
全	七月五日	全	獨國 アーサー・サミュエル
全		特別社員	全 兵庫 嘉納治兵衛
全	七月廿五日	全	北海道 宮腰 定作

全	八月三十日	全	全 青木 乙松
全		全	全 東京 津村重舍
全		全	全 大阪 竹尾治右衛門
全		全	全 上野理一
全	十月一日	特別社員	全 村山龍平
全	十月十四日	全	在韓國 大田儀三
全	十月十六日	全	全 大阪 田邊貫一
全	十月廿五日	特別社員	全 阿部彦太郎
全		全	全 戶田彌七
全	十月廿九日	全	全 高知 川島幸十郎
全	十月三十日	特別社員	全 滋賀 石居四郎平
全	十一月九日	全	全 宮崎 子爵内藤政舉
全		全	全 大阪 山口玄洞
全		全	全 原 彌兵衛
全	十一月十日	全	全 長野 山本幸吉

附錄 有功章授與者人名書

全	十一月十八日	金千圓出金	特別社員	滋賀下郷傳平
全				
全	十一月廿二日	全		全 下郷妙子
全				
全			特別社員	鹿兒島 野上佐太郎
全				川邊藤太郎
全				岩元信兵衛
全	十一月廿八日	金千二十五圓出金	全	長崎山崎喜誠
全				
全	十二月五日	金千圓出金	全	富山米田六四郎
全				内山松世
全	十二月九日	全	全	竹内喜平
全				
全	十二月十日	全	全	宮田民次郎
全				
全	十二月廿七日	金千九圓餘出金	全	愛知佐分慎一郎
全				
全		金千圓出金	特別社員	大阪山口嘉藏
全				河崎助太郎
全	十二月廿八日	全	全	藤本清兵衛

計 六百六十一名  
合計 千百二十五名

(四) 明治二十七八年戰役救護受賞者人名書

本部及病院職員

受賞職名	氏名	受賞職名	氏名
依勳功特 授男爵	橋本綱常	勳三等旭 日中授章	幹事子爵松平乘承
依勳功特 授男爵	社長子爵佐野常民	勳六等單 光旭日章	主事笠原光雄
依勳功特 授男爵	病院長		

受賞種別	授爵	授爵	授爵
計	勳爵	勳爵	勳爵
	一	一	一
	二	二	二
	四	四	四

附錄 明治二十七八年戰役救護受賞者人名書

救護員 受賞勳章瑞三トアルハ勳三等瑞章又五〇トアルハ金五百圓ヲ授ケ賜ヒタル者ノ略其他皆此例ニ依リ

受賞 勳等 賜金 職名 氏名 所管

Table of names and titles for the first group of recipients, including names like 清水俊太郎, 岩井三郎, 緒方惟精, etc.

附錄 明治二十七八年戰役救護受賞者人名書

Main table of names and titles for the second group of recipients, including names like 坂本一其, 岡本繁全, 山本亮全, etc.









受賞  
勳等賜金  
職名 氏 名 所管

三	看護婦	井福	カニ長崎
三	看護婦	師岡	サカエ全
三	看護婦	玉井	チヤウ全
三	看護婦	平井	シツノ全
三	看護婦	山鹿	シツノ全
三	看護婦	片岡	ムツ全
三	看護婦	寺本	常盤全
三	看護婦	猪股	ユキ全
三	看護婦	野瀬	ナメ全
三	看護婦	村島	カメ全
三	看護婦	中島	ホ全
三	看護婦	西村	ミホ全
三	看護婦	川村	保實新潟
三	看護婦	大村	定吉全
三	看護婦	高山	惣三郎全
三	看護婦	大田	耕藏全
三	看護婦	田中	耕藏全
三	看護婦	齋岡	末男全
三	看護婦	小出	彌三郎全
三	看護婦	大塚	國吉全
三	看護婦	鈴木	光貞埼玉
三	看護婦	大原	三郎全
三	看護婦	鹽原	昌次郎全
三	看護婦	榎本	益太郎全
三	看護婦	勝俣	眞三吉群馬
三	看護婦	安井	榮吉全
三	看護婦	堤	次郎全

受賞  
勳等賜金  
職名 氏 名 所管

三	看護婦	勝俣	幸三群馬
三	看護婦	細谷	源太郎全
三	看護婦	高橋	理太郎全
三	看護婦	小野	丑五郎全
三	看護婦	足山	伊太郎全
三	看護婦	遠藤	ハツ全
三	看護婦	松川	ムラ全
三	看護婦	飯島	カネ全
三	看護婦	岩野	ケイ全
三	看護婦	水野	ヨシ全
三	看護婦	柳澤	ヨシ全
三	看護婦	宮内	田七郎全
三	看護婦	宮内	田七郎全
三	看護婦	樋口	ヒト全
三	看護婦	江田	マサ全
三	看護婦	原田	ユカ全
三	看護婦	白根	次郎全
三	看護婦	関根	テツ全
三	看護婦	三木	キツ全
三	看護婦	田部	井ハ全
三	看護婦	久野	アキ全
三	看護婦	石野	アキ全
三	看護婦	佐藤	マサ全
三	看護婦	齊藤	シヤ全
三	看護婦	堀江	マサ全
三	看護婦	菊地	マサ全

受賞  
勳等賜金  
職名 氏 名 所管

三	看護婦	里見	ナミ群馬
三	看護婦	佐々木	シゲ全
三	看護婦	黒澤	キヨ全
三	看護婦	細谷	ハツ全
三	看護婦	關根	庄藏千葉
三	看護婦	小林	謙太郎全
三	看護婦	岡島	豊熊全
三	看護婦	小倉	文太郎全
三	看護婦	高橋	又一茨城
三	看護婦	加藤	彌彦全
三	看護婦	大内	信三郎全
三	看護婦	宮内	威太郎栃木
三	看護婦	栗田	口留藏全
三	看護婦	菅又	留三全
三	看護婦	中島	久馬全
三	看護婦	菅田	省三郎全
三	看護婦	森田	林次郎全
三	看護婦	吉田	順奈真
三	看護婦	松本	野立全
三	看護婦	岡田	卯之松全
三	看護婦	大野	多節太郎全
三	看護婦	畑山	喜一郎全
三	看護婦	山本	愛次郎全
三	看護婦	永岡	實次郎全
三	看護婦	小川	勝三重
三	看護婦	岡田	晴吉全

瑞

三	看護婦	山木	重三郎全
三	看護婦	熊谷	幸之輔名古屋
三	看護婦	武野	之助全
三	看護婦	加藤	庭之助全
三	看護婦	中村	俊士郎全
三	看護婦	吉田	庫次郎全
三	看護婦	大久保	卯三吉全
三	看護婦	和田	義潤全
三	看護婦	津田	静太郎全
三	看護婦	武藤	重英全
三	看護婦	上杉	重二全
三	看護婦	大迫	トキ全
三	看護婦	佐藤	猶子全
三	看護婦	津田	タキ全
三	看護婦	野村	シヤ全
三	看護婦	岩内	元信全
三	看護婦	坪内	源治全
三	看護婦	水野	賢吾全
三	看護婦	高橋	作之助全
三	看護婦	林藤	トク全
三	看護婦	武藤	カク全
三	看護婦	深見	ユタ全
三	看護婦	片桐	ヒサ全
三	看護婦	石田	スサ全
三	看護婦	山口	テス全
三	看護婦	江場	ヨネ全

瑞

三	看護婦	藤村	シツ全
三	看護婦	武田	ミツ全
三	看護婦	成田	ハツ全
三	看護婦	林部	タマ全
三	看護婦	岡本	クニ全
三	看護婦	岡本	トモ全
三	看護婦	渡邊	ツモ全
三	看護婦	堀尾	ウタ全
三	看護婦	名倉	カタ全
三	看護婦	上田	カメ全
三	看護婦	柴山	カメ全
三	看護婦	松浦	カメ全
三	看護婦	兼松	カメ全
三	看護婦	兼松	カメ全
三	看護婦	吉村	カメ全
三	看護婦	下村	カメ全
三	看護婦	長山	カメ全
三	看護婦	長山	カメ全
三	看護婦	大橋	カメ全
三	看護婦	五味	カメ全
三	看護婦	服部	カメ全
三	看護婦	小川	カメ全
三	看護婦	山田	カメ全
三	看護婦	五島	カメ全
三	看護婦	西岡	カメ全
三	看護婦	長谷川	カメ全
三	看護婦	大谷	カメ全
三	看護婦	藤村	カメ全
三	看護婦	有野	カメ全
三	看護婦	片野	カメ全
三	看護婦	中野	カメ全

瑞

三	看護婦	稻熊	エ全
三	看護婦	内藤	武雄静岡
三	看護婦	日高	龜太郎全
三	看護婦	三宅	安助全
三	看護婦	上田	喜助全
三	看護婦	小山	田末吉全
三	看護婦	川野	鏡太郎全
三	看護婦	高桑	鏡太郎全
三	看護婦	矢崎	貞吉山梨
三	看護婦	武井	政重全
三	看護婦	平賀	武次郎全
三	看護婦	蘆澤	武次郎全
三	看護婦	宮田	義啓滋賀
三	看護婦	藤掛	信太郎全
三	看護婦	加藤	信太郎全
三	看護婦	公文	美重全
三	看護婦	石岡	猪三郎全
三	看護婦	大橋	春吉全
三	看護婦	石原	藤一郎岐阜
三	看護婦	勝俣	英吉郎長野
三	看護婦	田中	四郎全
三	看護婦	市川	清之助全
三	看護婦	田中	賢吉全
三	看護婦	平野	嘉津夫全
三	看護婦	青木	保太郎全
三	看護婦	三戸	部進全
三	看護婦	北島	俊作全
三	看護婦	眞山	カメ全
三	看護婦	水谷	シケ全

附錄 明治二十七年戰役救護受賞者人名書

二二九



附錄 明治二十七八年戰役救護受賞者人名書

受賞 勳等 賜金 職名 氏名 所管

Table listing names and titles for the first group of recipients, including names like 坪島スエ廣嶋, 高木テル全, 岩部シツ全, etc.

受賞 勳等 賜金 職名 氏名 所管

Table listing names and titles for the second group of recipients, including names like 木澤アイ廣嶋, 倉田光枝全, 岡本タツ全, etc.

受賞 勳等 賜金 職名 氏名 所管

Table listing names and titles for the third group of recipients, including names like 桂ハル山口, 吉木ルイ全, 阿武キチ全, etc.

附錄 明治二十七八年戰役救護受賞者人名書

Table listing names and titles for the first group of recipients on the left page, including names like 岡本茂吉全, 東條清友全, 赤澤友太全, etc.

Table listing names and titles for the second group of recipients on the left page, including names like 片岡サダ全, 岡田サヒ全, 岡本タツ全, etc.

Table listing names and titles for the third group of recipients on the left page, including names like 中村ツモ全, 山田ノブ全, 村尾シノブ全, etc.



社	長	副社長	主事	部長	課長	三	病院幹事	一	計
									八

叙	受賞種別
勳	
賜	
計	八七一

(備考) 叙勳者一名ノ勳等ハ勳五等ナリ

### 救護員

受賞欄ニ「瑞五」「二二〇」トアルハ勳五等瑞寶章及金二百十圓ヲ授ケ賜ヒタル者ノ畧  
其他皆此例ニ倣フ

受賞	勳等賜金	職名	氏名	所管
瑞	三〇	理事	林方一	雄本部
瑞	三〇	醫師	緒川元雄	雄本部
瑞	三〇	醫師	黒田綱彦	雄本部
瑞	三〇	醫師	山田兼善	雄本部
瑞	三〇	醫師	河野一	雄本部
瑞	三〇	醫師	岩井三	雄本部
瑞	三〇	醫師	吉田三	雄本部
瑞	三〇	醫師	鳥谷三	雄本部
瑞	三〇	醫師	野口三	雄本部
瑞	三〇	醫師	北島三	雄本部
瑞	三〇	醫師	竹田三	雄本部
瑞	三〇	醫師	富田三	雄本部
瑞	三〇	醫師	是志三	雄本部
瑞	三〇	醫師	菅谷勇	雄本部
瑞	三〇	醫師	會田通之助	雄本部
瑞	三〇	醫師	納富春樹	雄本部
瑞	三〇	醫師	青柳正辰	雄本部
瑞	三〇	醫師	山田誠助	雄本部
瑞	三〇	醫師	三村石之助	雄本部
瑞	三〇	醫師	黒岩徳明	雄本部
瑞	三〇	醫師	渡邊時四郎	雄本部
瑞	三〇	醫師	井上誠也	雄本部
瑞	三〇	醫師	小島林	雄本部
瑞	三〇	醫師	高山子	雄本部
瑞	三〇	醫師	宮崎太郎	雄本部
瑞	三〇	醫師	三田直吉	雄本部
瑞	三〇	事務員	吉崎建太郎	雄本部
瑞	三〇	事務員	野見國造	雄本部
瑞	三〇	事務員	小橋董	雄本部
瑞	三〇	事務員	巖島正綱	雄本部
瑞	三〇	事務員	寺山錫	雄本部
瑞	三〇	事務員	荒木喜美太郎	雄本部
瑞	三〇	事務員	藤田四郎	雄本部
瑞	三〇	事務員	大石幸太郎	雄本部
瑞	三〇	事務員	山領景文	雄本部
瑞	三〇	事務員	澤田久登	雄本部
瑞	三〇	事務員	山田雅介	雄本部
瑞	三〇	事務員	山田雅介	雄本部

受賞	勳等賜金	職名	氏名	所管
瑞	三〇	看護婦長	神村信	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	河野通	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	安防本	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	周防本	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	萩原	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	佐藤	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	酒井	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	高木	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	大木	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	久島	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	加藤	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	真藤	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	加藤	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	河合	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	河合	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	松澤	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	林吉	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	皆吉	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	千吉	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	岸吉	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	熊澤	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	高木	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	辻川	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	飯田	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	秋田	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	鹽川	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	並河	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	大久保	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	鈴木	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	野崎	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	竹内	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	原野	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	土田	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	加藤	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	大久保	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	三木	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	西野	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	鈴木	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	田中	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	清水	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	原水	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	岡田	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	桃原	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	磯部	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	桃井	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	小泉	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	千合	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	在田	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	村瀬	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	鈴木	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	小川	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	山口	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	山田	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	金島	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	河島	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	田中	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	今村	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	森邊	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	渡邊	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	秋元	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	若原	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	山崎	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	前原	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	坂本	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	田中	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	湯浅	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	高木	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	桂野	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	奥野	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	森野	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	高木	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	池田	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	友成	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	西成	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	高成	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	石成	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	菅成	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	村成	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	瀧成	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	鈴木	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	北成	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	松成	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	志成	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	駒成	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	齋成	雄本部
瑞	三〇	看護婦長	川成	雄本部

附錄 明治三十三年清國事件救護受賞者人名書

一三七





附錄 明治三十三年清國事件救護受賞者人名書

受賞	職名	氏名	所管
勳等賜金	看護婦	五十嵐キヲ山形	
	看護婦	須田チヨ秋田	
	看護婦	井波リウ福井	
	看護婦	坂井旭太郎石川	
	看護婦	北野恒夫全	
	看護婦	小田徳次全	
	看護婦	津生孝止全	
	看護婦	中越清太郎全	
	看護婦	毛利嘉吉全	
	看護婦	小橋吉太郎全	
	看護婦	藤本吉二全	
	看護婦	竹下正脩全	
	看護婦	吉岡吉男全	
	看護婦	和泉左一全	
	看護婦	神戶成義全	
	看護婦	石倉謙太郎全	
	看護婦	松村謙太郎全	
	看護婦	上田幸太郎全	
	看護婦	石川齊富山	
	看護婦	嵯峨ツル全	
	看護婦	田村松次郎全	
	看護婦	高山幸次郎全	
	看護婦	千田成次郎全	
	看護婦	波多野イワ鳥取	
	看護婦	岩谷林之助鳥根	
受賞	職名	氏名	所管
勳等賜金	調劑員補	龜井龍太郎鳥根	
	調劑員補	日野見太郎全	
	調劑員補	間瀬ミツ全	
	調劑員補	間瀬ユキ全	
	調劑員補	田中タケ全	
	調劑員補	杉原ナヲ全	
	調劑員補	大塚シエ全	
	調劑員補	岡山ヒサ全	
	調劑員補	川崎ユキ全	
	調劑員補	白井松枝全	
	調劑員補	野村テイ全	
	調劑員補	三上季三郎岡山	
	調劑員補	片山吉五郎全	
	調劑員補	影山隆全	
	調劑員補	吉田美津全	
	調劑員補	中江常全	
	調劑員補	石川美江全	
	調劑員補	青山須美全	
	調劑員補	牧山鶴全	
	調劑員補	樋口熊全	
	調劑員補	日笠イナ全	
	調劑員補	森茂登全	
	調劑員補	小森登全	
	調劑員補	太田志惠全	
	調劑員補	兒玉秀全	
	調劑員補	梅田覺太郎全	
受賞	職名	氏名	所管
勳等賜金	看護婦	久保湖一耶廣嶋	
	看護婦	水野寛逸全	
	看護婦	小池峯雄全	
	看護婦	川條唯識全	
	看護婦	白井昌一全	
	看護婦	山本ヤチ全	
	看護婦	二宮マサノ全	
	看護婦	大久保鶴太郎全	
	看護婦	岩部シツ全	
	看護婦	高木テツ全	
	看護婦	浮氣モト全	
	看護婦	若本梅全	
	看護婦	岩下龜全	
	看護婦	高島カズ全	
	看護婦	安藤カズ全	
	看護婦	古川マサ全	
	看護婦	平山マサ全	
	看護婦	黒岩ウキ全	
	看護婦	淺野ウキ全	
	看護婦	杉野ウキ全	
	看護婦	大井カネ全	
	看護婦	筒井久全	
	看護婦	吉川登全	
	看護婦	二名ミ全	
	看護婦	戸田枝全	

受賞	職名	氏名	所管
勳等賜金	看護婦	山崎セツ全	
	看護婦	牧野ウメ全	
	看護婦	國枝ノブ全	
	看護婦	宮本丈吉全	
	看護婦	繪山淳之助全	
	看護婦	三村幸太郎全	
	看護婦	宇佐川敬之助全	
	看護婦	平乙三郎全	
	看護婦	三浦源一全	
	看護婦	島田澤磨全	
	看護婦	渡川宇一全	
	看護婦	野村保太郎全	
	看護婦	岡田熊太郎全	
	看護婦	沖本嘉市全	
	看護婦	枝原ツル山口	
	看護婦	金子マツ全	
	看護婦	浦上マツ全	
	看護婦	茅野ミ全	
	看護婦	坂本タツ全	
	看護婦	中村リ全	
	看護婦	重山カニ全	
受賞	職名	氏名	所管
勳等賜金	看護婦	岡武セツ全	
	看護婦	阿武キツ全	
	看護婦	原マサノ和歌山	
	看護婦	藤直イワ徳嶋	
	看護婦	吉本イワ徳嶋	
	看護婦	中村嘉源太郎香川	
	看護婦	吉田一太郎全	
	看護婦	佐脇松雄全	
	看護婦	國方幸造全	
	看護婦	池田輝元全	
	看護婦	坊上幸太郎全	
	看護婦	平野小太郎全	
	看護婦	尾崎サカ全	
	看護婦	山本イカ全	
	看護婦	大森イカ全	
	看護婦	岩瀬スミ全	
	看護婦	吉井三太郎全	
	看護婦	古澤與三郎全	
	看護婦	上原米次郎全	
	看護婦	朝田正次郎全	
受賞	職名	氏名	所管
勳等賜金	看護婦	松下敬吉全	
	看護婦	佐藤惣吉全	
	看護婦	森山傳造全	
	看護婦	小倉不三郎全	
	看護婦	龜野雪雄全	
	看護婦	中村政吉全	
	看護婦	山田理三郎全	
	看護婦	中村捨二郎全	
	看護婦	久我フサエ愛媛	
	看護婦	宮地駒猪高知	
	看護婦	富田サカ福岡	
	看護婦	井澤タカ大分	
	看護婦	小柳ツレ佐賀	
	看護婦	柿田末四郎熊本	
	看護婦	西島ミチ全	
	看護婦	大附佐四郎全	
	看護婦	三島易全	
	看護婦	池邊元記全	
	看護婦	中村サヲ宮崎	
	看護婦	井上コト鹿兒嶋	

救護員受賞者職別總人員	
六	事務長
二	醫師
四〇	員調劑員
三	看護婦
一	看護婦
四	事務員
一〇	書記調劑員補
二	看護婦長
一四	看護婦長
一八	看護婦長
一二	看護婦長
一八	看護婦長
一三	看護婦長
一六〇	看護婦長
一三一	看護婦長
二	看護婦長
四三六	計

附錄 明治三十三年清國事件救護受賞者人名書

附錄 明治三十七八年戰役救護受賞者人名書

受賞種別	
叙勳及賜金	一八
叙勳	四三
賜金	三七五
計	四三六

叙勳者勳等種別	
勳五等	六
勳六等	二九
勳七等	一三
勳八等	一三
計	六一

(六) 明治三十七八年戰役救護受賞者人名書

受賞額ニ加「一」五〇〇トアルハ勳一等加日大綬章及金二千五百圓ヲ授ケ賜ヒタル者又單三五〇〇トアルハ金五百圓ヲ賜ヒタル者ノ畧其他皆此例ニ倣フ  
 社長以下ノ官公職ニ依リ受賞シタル者ハ之ヲ省略ス〇婦人ノ名ハ平假名ト片假名ヲ用ウル者アルモ便宜上總テ片假名ヲ用キタリ

本部、臨時救護部及同大連出張所職員

受賞	勳等	賜金	職名	氏名	受賞	勳等	賜金	職名	氏名
勳一	三〇〇	勳一	理事	清水 俊	勳一	三〇〇	勳一	大連出張所職員	吉安延太郎
勳二	二〇〇	勳二	理事	山上 兼善	勳二	二〇〇	勳二	大連出張所職員	大波嘉久藏
勳三	一〇〇	勳三	理事	笠原 光雄	勳三	一〇〇	勳三	臨時救護部書記	宗田早苗
勳四	五〇	勳四	理事	岩崎 駒太郎	勳四	五〇	勳四	臨時救護部書記	吉田弘道
勳五	三〇	勳五	理事	杉浦 義徳	勳五	三〇	勳五	臨時救護部書記	澤田久登
勳六	二〇	勳六	理事	中尾 章三	勳六	二〇	勳六	臨時救護部書記	石川孝吉
勳七	一〇	勳七	理事	我澤喜太郎	勳七	一〇	勳七	臨時救護部書記	林 榮吉
勳八	五	勳八	理事	岡田正義	勳八	五	勳八	臨時救護部書記	中曾根五郎
勳九	三	勳九	理事	鷺見徳三郎	勳九	三	勳九	臨時救護部書記	鎌田信夫
勳十	一	勳十	理事	稻垣重路	勳十	一	勳十	臨時救護部書記	東郷昌武

受賞	勳等	賜金	職名	氏名
勳一	三〇〇	勳一	大連出張所職員	藤木 錫瑞七
勳二	二〇〇	勳二	大連出張所職員	真部 眞瑞七
勳三	一〇〇	勳三	大連出張所職員	磯田 浩一
勳四	五〇	勳四	大連出張所職員	山田 全一
勳五	三〇	勳五	大連出張所職員	今川 俊郎

支部及臨時救護部出張所職員

受賞	勳等	賜金	職名	氏名	受賞	勳等	賜金	職名	氏名
勳一	三〇〇	勳一	支那出張所職員	竹内 善貞	勳一	三〇〇	勳一	支那出張所職員	土岐小二郎
勳二	二〇〇	勳二	支那出張所職員	松本 正理	勳二	二〇〇	勳二	支那出張所職員	末富五郎
勳三	一〇〇	勳三	支那出張所職員	齋藤 左一	勳三	一〇〇	勳三	支那出張所職員	小幡信義
勳四	五〇	勳四	支那出張所職員	馬場 文雄	勳四	五〇	勳四	支那出張所職員	佐田家親
勳五	三〇	勳五	支那出張所職員	橋口 延成	勳五	三〇	勳五	支那出張所職員	川島七郎
勳六	二〇	勳六	支那出張所職員	岡田 忠格	勳六	二〇	勳六	支那出張所職員	新田重明
勳七	一〇	勳七	支那出張所職員	藤波 公壽	勳七	一〇	勳七	支那出張所職員	在田比多
勳八	五	勳八	支那出張所職員	井上 是致	勳八	五	勳八	支那出張所職員	加藤嘉吉
勳九	三	勳九	支那出張所職員	井川 精一	勳九	三	勳九	支那出張所職員	菊地忠吉
勳十	一	勳十	支那出張所職員	佐野 精一	勳十	一	勳十	支那出張所職員	小關卯之助
勳十一	〇	勳十一	支那出張所職員	山根 恭一	勳十一	〇	勳十一	支那出張所職員	楠崎正實
勳十二	〇	勳十二	支那出張所職員	河野 恭一	勳十二	〇	勳十二	支那出張所職員	中谷冬樹
勳十三	〇	勳十三	支那出張所職員	安藝 弟一	勳十三	〇	勳十三	支那出張所職員	增田盤之丞
勳十四	〇	勳十四	支那出張所職員	中村 石松	勳十四	〇	勳十四	支那出張所職員	三佐尾素亮
勳十五	〇	勳十五	支那出張所職員	日置 敬二	勳十五	〇	勳十五	支那出張所職員	武内得二
勳十六	〇	勳十六	支那出張所職員	尾崎 敬三	勳十六	〇	勳十六	支那出張所職員	越智 敬三
勳十七	〇	勳十七	支那出張所職員	野正 敬三	勳十七	〇	勳十七	支那出張所職員	渡邊 敬三

附錄 明治三十七八年戰役救護受賞者人名書



















附錄 明治三十七八年戰役救護受賞者人名書

勳等	賜金	職名	氏名	所管
瑞	全	看護人	服部 正太郎	本部
瑞	全	看護人	今泉 吉兵衛	本部
瑞	全	看護人	清原 俊香	本部
瑞	全	看護人	菅野 熊太郎	本部
瑞	全	看護人	泉 喜十郎	本部
瑞	全	看護人	松木 留藏	本部
瑞	全	看護人	仲澤 新太郎	本部
瑞	全	看護人	福田 鹿松	本部
瑞	全	看護人	馬場 文三	本部
瑞	全	看護人	野口 靜家	本部
瑞	全	看護人	林 巳之吉	本部
瑞	全	看護人	森山 清治	本部
瑞	全	看護人	石谷 富太郎	本部
瑞	全	看護人	小田 健次郎	本部
瑞	全	看護人	安田 健次郎	本部
瑞	全	看護人	吉井 富次郎	本部
瑞	全	看護人	是常 駒之助	本部
瑞	全	看護人	宇津木 榮治郎	本部
瑞	全	看護人	長島 兼吉	本部
瑞	全	看護人	近藤 藤吉	本部
瑞	全	看護人	井上 彦太郎	本部
瑞	全	看護人	濱崎 久吉	本部
瑞	全	看護人	大久保 茂市	本部
瑞	全	看護人	岡田 永三	本部
瑞	全	看護人	岩井 嘉右衛門	本部
瑞	全	看護人	水上 又五郎	本部
瑞	全	看護人	大野 利三	本部
瑞	全	看護人	加地 恒太郎	本部
瑞	全	看護人	橋川 辨藏	本部
瑞	全	看護人	太田 半次郎	本部
瑞	全	看護人	市村 豊次	本部
瑞	全	看護人	横川 幸吉	本部
瑞	全	看護人	菅野 徳吉	本部
瑞	全	看護人	佐藤 駒吉	本部
瑞	全	看護人	井口 伊佐美	本部
瑞	全	看護人	吉田 伊稔	本部
瑞	全	看護人	野崎 久介	本部
瑞	全	看護人	村上 安徳	本部
瑞	全	看護人	河合 善治郎	本部
瑞	全	看護人	飛松 仙助	本部
瑞	全	看護人	山本 藤次郎	本部
瑞	全	看護人	田中 賢吉	本部
瑞	全	看護人	平 榮吉	本部
瑞	全	看護人	安藤 豊次郎	本部
瑞	全	看護人	石垣 吉治郎	本部
瑞	全	看護人	笹間 繁次郎	本部
瑞	全	看護人	武智 正文	本部
瑞	全	看護人	飯田 兼三郎	本部
瑞	全	看護人	小林 鶴彌	本部
瑞	全	看護人	益田 勝市	本部
瑞	全	看護人	太田 芳造	本部
瑞	全	看護人	柳橋 勝右衛門	本部
瑞	全	看護人	安藤 孫四郎	本部
瑞	全	看護人	田中 修次郎	本部
瑞	全	看護人	星野 彌市	本部
瑞	全	看護人	橋本 喜久藏	本部
瑞	全	看護人	柴山 乙松	本部
瑞	全	看護人	長谷川 守藏	本部
瑞	全	看護人	山口 嘉茂	本部
瑞	全	看護人	川島 保五郎	本部
瑞	全	看護人	山本 道太郎	本部
瑞	全	看護人	山田 小三郎	本部
瑞	全	看護人	山田 兼松	本部
瑞	全	看護人	山田 徳之助	本部
瑞	全	看護人	中島 兵吉	本部
瑞	全	看護人	深澤 磯吉	本部
瑞	全	看護人	棚橋 瀧治郎	本部
瑞	全	看護人	宮岡 與三郎	本部
瑞	全	看護人	宮木 彌平	本部
瑞	全	看護人	澤田 林藏	本部
瑞	全	看護人	近澤 善平	本部
瑞	全	看護人	早川 儀市	本部
瑞	全	看護人	中野 井久八	本部
瑞	全	看護人	佐々木 伊兵衛	本部
瑞	全	看護人	瀧瀬 繁藏	本部
瑞	全	看護人	戸田 濱吉	本部
瑞	全	看護人	山本 捨次郎	本部
瑞	全	看護人	安四 勘十郎	本部
瑞	全	看護人	結城 清藏	本部
瑞	全	看護人	黒岩 三代次郎	本部
瑞	全	看護人	高根 澤松	本部
瑞	全	看護人	小泉 俊雄	本部
瑞	全	看護人	飯田 繁造	本部

勳等	賜金	職名	氏名	所管
瑞	全	看護人	百合 廣治	本部
瑞	全	看護人	眞壁 辰三郎	本部
瑞	全	看護人	佐藤 小一郎	本部
瑞	全	看護人	本多 忠助	本部
瑞	全	看護人	雲野 修治	本部
瑞	全	看護人	五十嵐 榮吉	本部
瑞	全	看護人	伊藤 新之丞	本部
瑞	全	看護人	千葉 新之丞	本部
瑞	全	看護人	金子 環全	本部
瑞	全	看護人	赤間 安治	本部
瑞	全	看護人	佐藤 兵記	本部
瑞	全	看護人	鈴木 猪之助	本部
瑞	全	看護人	相澤 美次郎	本部
瑞	全	看護人	河合 篠三郎	本部
瑞	全	看護人	高峰 一郎	本部
瑞	全	看護人	村田 忠一	本部
瑞	全	看護人	熊坂 玉之助	本部
瑞	全	看護人	吉野 安松	本部
瑞	全	看護人	武野 市太郎	本部
瑞	全	看護人	蘆澤 源吉	本部
瑞	全	看護人	小笠原 義勝	本部
瑞	全	看護人	安達 國吉	本部
瑞	全	看護人	秋山 庄之助	本部
瑞	全	看護人	高山 久二	本部
瑞	全	看護人	安藤 直助	本部
瑞	全	看護人	坂本 光吉	本部
瑞	全	看護人	大野 寅藏	本部
瑞	全	看護人	伏屋 住次郎	本部
瑞	全	看護人	松本 鶴吉	本部
瑞	全	看護人	山田 義重	本部
瑞	全	看護人	下條 芳直	本部
瑞	全	看護人	佐藤 直三郎	本部
瑞	全	看護人	西澤 傳藏	本部
瑞	全	看護人	鎗田 信行	本部
瑞	全	看護人	對馬 秀之助	本部
瑞	全	看護人	陶村 良光	本部
瑞	全	看護人	中村 良太郎	本部
瑞	全	看護人	藤岡 淺吉	本部
瑞	全	看護人	船水 直吉	本部
瑞	全	看護人	岩館 勝吉	本部
瑞	全	看護人	杉山 仁吉	本部
瑞	全	看護人	鶴山 清助	本部
瑞	全	看護人	石濱 清五郎	本部
瑞	全	看護人	上田 宗五郎	本部
瑞	全	看護人	島田 孝四郎	本部
瑞	全	看護人	大久保 相之助	本部
瑞	全	看護人	吉田 富治郎	本部
瑞	全	看護人	鈴木 定吉	本部
瑞	全	看護人	大木 辨治郎	本部
瑞	全	看護人	平山 寅吉	本部
瑞	全	看護人	山本 米吉	本部
瑞	全	看護人	笹山 周太郎	本部
瑞	全	看護人	河合 辰五郎	本部
瑞	全	看護人	柴崎 龍太郎	本部
瑞	全	看護人	鈴木 熊太郎	本部
瑞	全	看護人	長森 力藏	本部
瑞	全	看護人	篠原 禮七	本部
瑞	全	看護人	星野 彌市	本部
瑞	全	看護人	橋本 喜久藏	本部
瑞	全	看護人	柴山 乙松	本部
瑞	全	看護人	長谷川 守藏	本部
瑞	全	看護人	山口 嘉茂	本部
瑞	全	看護人	川島 保五郎	本部
瑞	全	看護人	山本 道太郎	本部
瑞	全	看護人	山田 小三郎	本部
瑞	全	看護人	山田 兼松	本部
瑞	全	看護人	山田 徳之助	本部
瑞	全	看護人	中島 兵吉	本部
瑞	全	看護人	深澤 磯吉	本部
瑞	全	看護人	棚橋 瀧治郎	本部
瑞	全	看護人	宮岡 與三郎	本部
瑞	全	看護人	宮木 彌平	本部
瑞	全	看護人	澤田 林藏	本部
瑞	全	看護人	近澤 善平	本部
瑞	全	看護人	早川 儀市	本部
瑞	全	看護人	中野 井久八	本部
瑞	全	看護人	佐々木 伊兵衛	本部
瑞	全	看護人	瀧瀬 繁藏	本部
瑞	全	看護人	戸田 濱吉	本部
瑞	全	看護人	山本 捨次郎	本部
瑞	全	看護人	安四 勘十郎	本部
瑞	全	看護人	結城 清藏	本部
瑞	全	看護人	黒岩 三代次郎	本部
瑞	全	看護人	高根 澤松	本部
瑞	全	看護人	小泉 俊雄	本部
瑞	全	看護人	飯田 繁造	本部

附錄 明治三十七八年戰役救護受賞者人名書





附錄 明治三十七八年戰役救護受賞者人名書

勳等	賜金	職名	氏名	所管
瑞	三	看護人	井上 萬吉	京都
瑞	三	看護人	吉川 宗吉	京都
瑞	三	看護人	谷口 萬次	京都
瑞	三	看護人	東 安藏	京都
瑞	三	看護人	谷田 善之助	京都
瑞	三	看護人	桐村 品吉	京都
瑞	三	看護人	中村 勝太郎	京都
瑞	三	看護人	梅田 作太郎	京都
瑞	三	看護人	片木 島吉	京都
瑞	三	看護人	柴田 末吉	京都
瑞	三	看護人	木田 龜之助	京都
瑞	三	看護人	上田 末吉	京都
瑞	三	看護人	鹽見 力造	京都
瑞	三	看護人	作山 真太郎	京都
瑞	三	看護人	光正 榮次	京都
瑞	三	看護人	廣島 竹次	京都
瑞	三	看護人	那須 佐市	京都
瑞	三	看護人	五百 藏致一	大阪
瑞	三	看護人	小幡 龜壽	大阪
瑞	三	看護人	岡 知正	大阪
瑞	三	看護人	倉 知正	大阪
瑞	三	看護人	江 谷能太郎	大阪
瑞	三	看護人	向 谷能太郎	大阪
瑞	三	看護人	萩原 榮次	大阪
瑞	三	看護人	松田 仁三	大阪
瑞	三	看護人	墨江 太次	大阪
瑞	三	看護人	高橋 寛太郎	大阪
瑞	三	看護婦	小森 多六	大阪
瑞	三	看護婦	吉田 清三	大阪
瑞	三	看護婦	岸本 伊勢	大阪
瑞	三	看護婦	五條 秀磨	大阪
瑞	三	看護婦	三輪 正輔	大阪
瑞	三	看護婦	竹山 泰秋	大阪
瑞	三	看護婦	富山 幸ア	大阪
瑞	三	看護婦	岡 澤ヒ	大阪
瑞	三	看護婦	堀 上ナ	大阪
瑞	三	看護婦	池 吹ス	大阪
瑞	三	看護婦	伊 吹ス	大阪
瑞	三	看護婦	津田 廣三	大阪
瑞	三	看護婦	西岡 由太	大阪
瑞	三	看護婦	吉岡 キ	大阪
瑞	三	看護婦	北村 マ	大阪
瑞	三	看護婦	岩 淺マ	大阪
瑞	三	看護婦	内田 ヒ	大阪
瑞	三	看護婦	松井 マ	大阪
瑞	三	看護婦	鈴 木ハ	大阪
瑞	三	看護婦	島 山マ	大阪
瑞	三	看護婦	山 根マ	大阪
瑞	三	看護婦	島 根マ	大阪
瑞	三	看護婦	乾 田マ	大阪
瑞	三	看護婦	村 松マ	大阪
瑞	三	看護婦	中井 マ	大阪
瑞	三	看護婦	大西 マ	大阪
瑞	三	看護婦	村 本マ	大阪
瑞	三	看護婦	岩 城マ	大阪
瑞	三	看護婦	伊 藤マ	大阪
瑞	三	看護婦	久 保マ	大阪
瑞	三	看護婦	村 上マ	大阪
瑞	三	看護婦	清 水マ	大阪
瑞	三	看護婦	下 垣マ	大阪
瑞	三	看護婦	橋 内マ	大阪
瑞	三	看護婦	豐 田マ	大阪
瑞	三	看護婦	守 屋マ	大阪
瑞	三	看護婦	片 山マ	大阪
瑞	三	看護婦	森 野マ	大阪
瑞	三	看護婦	荒 木マ	大阪
瑞	三	看護婦	中 野マ	大阪
瑞	三	看護婦	山 本マ	大阪
瑞	三	看護婦	廣 井マ	大阪
瑞	三	看護婦	堀 口マ	大阪
瑞	三	看護婦	高 木マ	大阪
瑞	三	看護婦	渡 邊マ	大阪
瑞	三	看護婦	成 瀬マ	大阪
瑞	三	看護婦	田 中マ	大阪
瑞	三	看護婦	岸 本マ	大阪
瑞	三	看護婦	松 村マ	大阪
瑞	三	看護婦	小 池マ	大阪
瑞	三	看護婦	伊 藤マ	大阪
瑞	三	看護婦	安 場マ	大阪
瑞	三	看護婦	佐 藤マ	大阪
瑞	三	看護婦	山 本マ	大阪

勳等	賜金	職名	氏名	所管
瑞	三	看護婦	木 莊龍太郎	大阪
瑞	三	看護婦	林 常吉	大阪
瑞	三	看護婦	中 川徳次	大阪
瑞	三	看護婦	中 尾佐市	大阪
瑞	三	看護婦	三 矢榮治	大阪
瑞	三	看護婦	中 村 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	田 限 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	宮 後光之助	大阪
瑞	三	看護婦	柳 田 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	北 島常治	大阪
瑞	三	看護婦	香 川 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	竹 中 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	北 村 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	早 田 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	堀 口 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	小 林 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	高 橋力之助	大阪
瑞	三	看護婦	湯 川留次郎	大阪
瑞	三	看護婦	藤 井謙之助	大阪
瑞	三	看護婦	宇 藤 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	加 藤 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	梅 澤 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	榎 本 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	谷 口 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	志 村 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	久 保 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	間 壁 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	一 部 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	細 谷 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	永 田 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	高 見 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	笹 田 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	山 本 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	小 日 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	岩 本 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	喜 地 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	永 山 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	端 山 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	喜 地 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	大 橋 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	玉 井 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	門 崎 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	小 栗 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	石 原 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	鈴 木 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	萩 原 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	米 部 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	乙 部 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	比 企 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	關 根 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	柴 谷 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	東 谷 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	加 藤 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	永 山 眞吉	大阪
瑞	三	看護婦	秦 山 眞吉	大阪

附錄 明治三十七八年戰役救護受賞者人名書











勳等	賜金	職名	氏名	氏名	氏名
實	七	看護婦	岡井ヨハル三重	津賀直枝三重	高田タマコ愛知
實	七	看護婦	池口沖三全	松田マツノ全	山田タマ子全
實	七	看護婦	樋口タカ全	日野アト全	上床クニ全
實	七	看護婦	竹内ハカ全	奥野トヨ全	田家シユン全
實	七	看護婦	草川ハマ全	沖見コヒ全	酒井ケン全
實	七	看護婦	西村マサ全	武野ヒナ全	日谷ケン全
實	七	看護婦	藤本ミツ全	兵藤之助全	伊藤チノ全
實	七	看護婦	佐々木ヨシ全	加藤太助全	藤浦チノ全
實	七	看護婦	長井ナス全	二杉太助全	本間タツ全
實	七	看護婦	藤井ナス全	安藤友平全	伊藤タツ全
實	七	看護婦	飯田フサ全	森茂夫全	藤浦チノ全
實	七	看護婦	林キミ全	三輪友吉全	賢木原ヒ全
實	七	看護婦	加藤セシ全	安藤友平全	山田ケン全
實	七	看護婦	飯田フサ全	酒井公全	古村ケン全
實	七	看護婦	岡中フサ全	小野仙治全	長谷川ユ全
實	七	看護婦	岡中フサ全	水野元全	西山レ全
實	七	看護婦	岡中フサ全	松野友全	阪中ユ全
實	七	看護婦	野間モト全	舟橋銜全	山田ユ全
實	七	看護婦	後藤マサ全	長井メ全	水野タ全
實	七	看護婦	前田千世全	大岩シ全	吉野操全
實	七	看護婦	前田千世全	廣瀬カ全	岩田ケン全
實	七	看護婦	岸野キ全	小澤シ全	梅林ケン全
實	七	看護婦	河野キ全	廣瀬シ全	梅林ケン全
實	七	看護婦	前田キ全	伊藤シ全	池山ケン全
實	七	看護婦	佐藤ヒ全	林久全	池山ケン全
實	七	看護婦	山川キ全	中澤サ全	芳賀ユ全

勳等	賜金	職名	氏名	氏名	氏名
實	七	看護婦	岡井ヨハル三重	津賀直枝三重	高田タマコ愛知
實	七	看護婦	池口沖三全	松田マツノ全	山田タマ子全
實	七	看護婦	樋口タカ全	日野アト全	上床クニ全
實	七	看護婦	竹内ハカ全	奥野トヨ全	田家シユン全
實	七	看護婦	草川ハマ全	沖見コヒ全	酒井ケン全
實	七	看護婦	西村マサ全	武野ヒナ全	日谷ケン全
實	七	看護婦	藤本ミツ全	兵藤之助全	伊藤チノ全
實	七	看護婦	佐々木ヨシ全	加藤太助全	藤浦チノ全
實	七	看護婦	長井ナス全	二杉太助全	本間タツ全
實	七	看護婦	藤井ナス全	安藤友平全	伊藤タツ全
實	七	看護婦	飯田フサ全	森茂夫全	藤浦チノ全
實	七	看護婦	林キミ全	三輪友吉全	賢木原ヒ全
實	七	看護婦	加藤セシ全	安藤友平全	山田ケン全
實	七	看護婦	飯田フサ全	酒井公全	古村ケン全
實	七	看護婦	岡中フサ全	小野仙治全	長谷川ユ全
實	七	看護婦	岡中フサ全	水野元全	西山レ全
實	七	看護婦	岡中フサ全	松野友全	阪中ユ全
實	七	看護婦	野間モト全	舟橋銜全	山田ユ全
實	七	看護婦	後藤マサ全	長井メ全	水野タ全
實	七	看護婦	前田千世全	大岩シ全	吉野操全
實	七	看護婦	前田千世全	廣瀬カ全	岩田ケン全
實	七	看護婦	岸野キ全	小澤シ全	梅林ケン全
實	七	看護婦	河野キ全	廣瀬シ全	梅林ケン全
實	七	看護婦	前田キ全	伊藤シ全	池山ケン全
實	七	看護婦	佐藤ヒ全	林久全	池山ケン全
實	七	看護婦	山川キ全	中澤サ全	芳賀ユ全

附錄 明治三十七八年戰役救護受賞者人名書

附錄 明治三十七八年戰役救護受賞者人名書

Table listing award recipients for the 37th and 38th years of the Meiji era. Columns include award type (勳等), amount (賜金), name (氏名), and office (名所管). Recipients include various medical staff and administrative personnel.

Continuation of the award recipient list, including names like 中込仁一郎 and 河村純達, and their respective offices.

Further continuation of the award recipient list, detailing names and their administrative assignments.

Table listing award recipients, including names like 藤原ヨシノブ and 岸ノブ, and their offices.

Continuation of the award recipient list on the left page, listing names and offices.

Final continuation of the award recipient list on the left page, including names like 青木ノブ and 小勢サトウ.

附錄 明治三十七八年戰役救護受賞者人名書

















受賞	職名	氏名	所管
勳等賜金	看護婦	中家富士代愛媛	今村ヨシヲ
賞金	看護婦	伊藤モト子	伊藤モト子
賞金	看護婦	中野サト子	中野サト子
賞金	看護婦	柴田イサ子	柴田イサ子
賞金	看護婦	村野光	村野光
賞金	看護婦	山田美	山田美
賞金	看護婦	田代イサ子	田代イサ子
賞金	看護婦	高橋ヨシ子	高橋ヨシ子
賞金	看護婦	岡本高知	岡本高知
賞金	看護婦	杉本典次	杉本典次
賞金	看護婦	植田重四郎	植田重四郎
賞金	看護婦	野川太四郎	野川太四郎
賞金	看護婦	小川太四郎	小川太四郎
賞金	看護婦	濱田太郎	濱田太郎
賞金	看護婦	長崎太郎	長崎太郎
賞金	看護婦	沖野助	沖野助
賞金	看護婦	宮野助	宮野助
賞金	看護婦	清野助	清野助
賞金	看護婦	田村助	田村助
賞金	看護婦	太田助	太田助
賞金	看護婦	立田助	立田助
賞金	看護婦	池田助	池田助
賞金	看護婦	濱田助	濱田助
賞金	看護婦	長崎助	長崎助

受賞	職名	氏名	所管
勳等賜金	看護婦	北村松高	北村松高
賞金	看護婦	植木喜	植木喜
賞金	看護婦	西内松	西内松
賞金	看護婦	元吉	元吉
賞金	看護婦	林馬	林馬
賞金	看護婦	武政	武政
賞金	看護婦	西春	西春
賞金	看護婦	田乙	田乙
賞金	看護婦	關川	關川
賞金	看護婦	福鹿	福鹿
賞金	看護婦	齋藤	齋藤
賞金	看護婦	小野	小野
賞金	看護婦	山本	山本
賞金	看護婦	三城	三城
賞金	看護婦	青木	青木
賞金	看護婦	入江	入江
賞金	看護婦	角野	角野
賞金	看護婦	中村	中村
賞金	看護婦	竹村	竹村
賞金	看護婦	門田	門田
賞金	看護婦	坂本	坂本
賞金	看護婦	一圓	一圓
賞金	看護婦	岡田	岡田
賞金	看護婦	橋本	橋本
賞金	看護婦	濱田	濱田
賞金	看護婦	川崎	川崎

受賞	職名	氏名	所管
勳等賜金	看護婦	北村彌久	北村彌久
賞金	看護婦	森本	森本
賞金	看護婦	内藤	内藤
賞金	看護婦	井上	井上
賞金	看護婦	武藤	武藤
賞金	看護婦	佐藤	佐藤
賞金	看護婦	大原	大原
賞金	看護婦	松村	松村
賞金	看護婦	田邊	田邊
賞金	看護婦	川久	川久
賞金	看護婦	廣瀬	廣瀬
賞金	看護婦	島崎	島崎
賞金	看護婦	中野	中野
賞金	看護婦	土野	土野
賞金	看護婦	熊澤	熊澤
賞金	看護婦	松野	松野
賞金	看護婦	高橋	高橋
賞金	看護婦	片岡	片岡
賞金	看護婦	影山	影山
賞金	看護婦	横山	横山
賞金	看護婦	上杉	上杉
賞金	看護婦	八田	八田
賞金	看護婦	井上	井上
賞金	看護婦	西田	西田
賞金	看護婦	江口	江口
賞金	看護婦	藤生	藤生

受賞	職名	氏名	所管
勳等賜金	看護婦	高田	高田
賞金	看護婦	平野	平野
賞金	看護婦	佐野	佐野
賞金	看護婦	小林	小林
賞金	看護婦	小田	小田
賞金	看護婦	松田	松田
賞金	看護婦	宮川	宮川
賞金	看護婦	草野	草野
賞金	看護婦	岡安	岡安
賞金	看護婦	吉村	吉村
賞金	看護婦	石橋	石橋
賞金	看護婦	田中	田中
賞金	看護婦	網分	網分
賞金	看護婦	明石	明石
賞金	看護婦	宮田	宮田
賞金	看護婦	柳木	柳木
賞金	看護婦	佐々木	佐々木
賞金	看護婦	片山	片山
賞金	看護婦	三宅	三宅
賞金	看護婦	吉田	吉田
賞金	看護婦	内山	内山
賞金	看護婦	森山	森山
賞金	看護婦	高根	高根
賞金	看護婦	村上	村上
賞金	看護婦	野上	野上
賞金	看護婦	上野	上野
賞金	看護婦	田上	田上

附錄 明治三十七八年戰役救護受賞者人名書

一九五